

平成26年12月22日

平成26年地方公務員給与実態調査結果等の概要

平成26年地方公務員給与実態調査結果等の概要について、別添のとおりとりまとめましたので公表します。

(連絡先)

自治行政局 公務員部 給与能率推進室

担当：土屋課長補佐・小比類巻係長・酒井係長

電話：03-5253-5551(直)

FAX：03-5253-5553

平成26年地方公務員給与実態調査結果等のポイント

1 ラスパイレス指数(全団体加重平均)

○ 平成26年4月1日現在 **98.9**

前年 106.9 Δ8.0
前年参考値(注) 98.8 +0.1

※ラスパイレス指数:全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

(注)参考値:給与改定・臨時特例法による国家公務員の給与削減措置がないとした場合の値

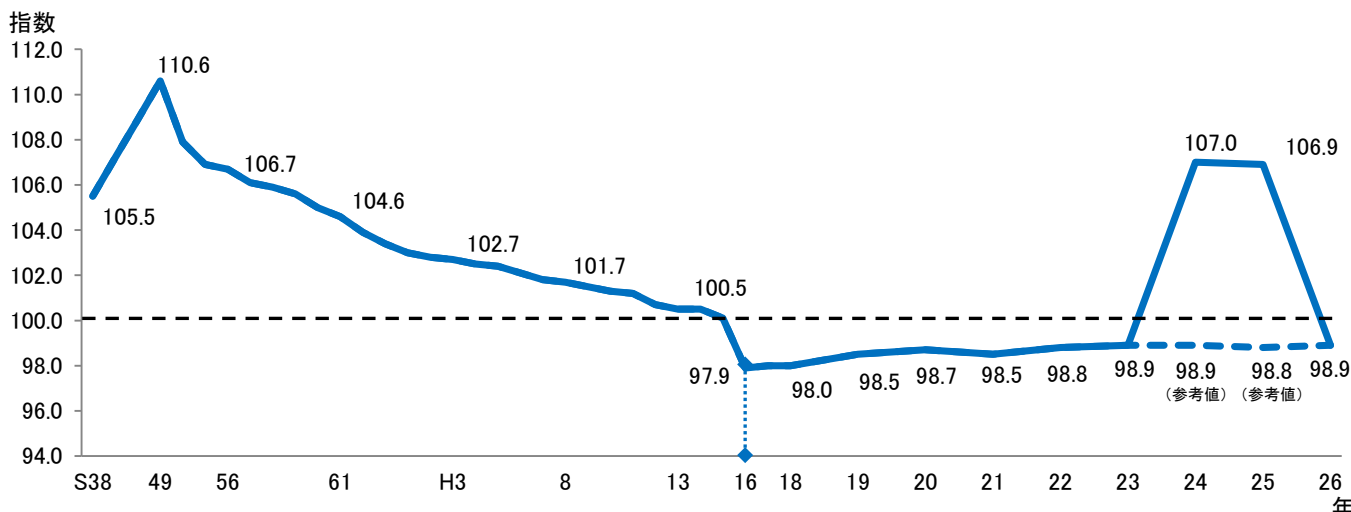
(1) 団体区分別平均

区 分	S49.4.1	H25.4.1 (参考値)	H26.4.1	増 減	
				S49→H26	H25→H26
全地方公共 団体平均	110.6	106.9 (98.8)	98.9	Δ 11.7	Δ 8.0 (0.1)
都道府県	111.3	107.4 (99.3)	99.9	Δ 11.4	Δ 7.5 (0.6)
指定都市	116.1	109.1 (100.8)	100.1	Δ 16.0	Δ 9.0 (Δ 0.7)
市	113.8	106.6 (98.5)	98.6	Δ 15.2	Δ 8.0 (0.1)
町村	99.2	103.2 (95.4)	95.6	Δ 3.6	Δ 7.6 (0.2)
特別区	—	108.2 (100.0)	99.7	—	Δ 8.5 (Δ 0.3)

(2) 団体区分別最高値・最低値

区 分	H26.4.1			
	最高値		最低値	
都道府県	102.9	愛知県	91.8	鳥取県
指定都市	104.0	川崎市	91.5	大阪市
市区町村	105.8	兵庫県芦屋市	74.9	大分県姫島村

(3) ラスパイレス指数の推移



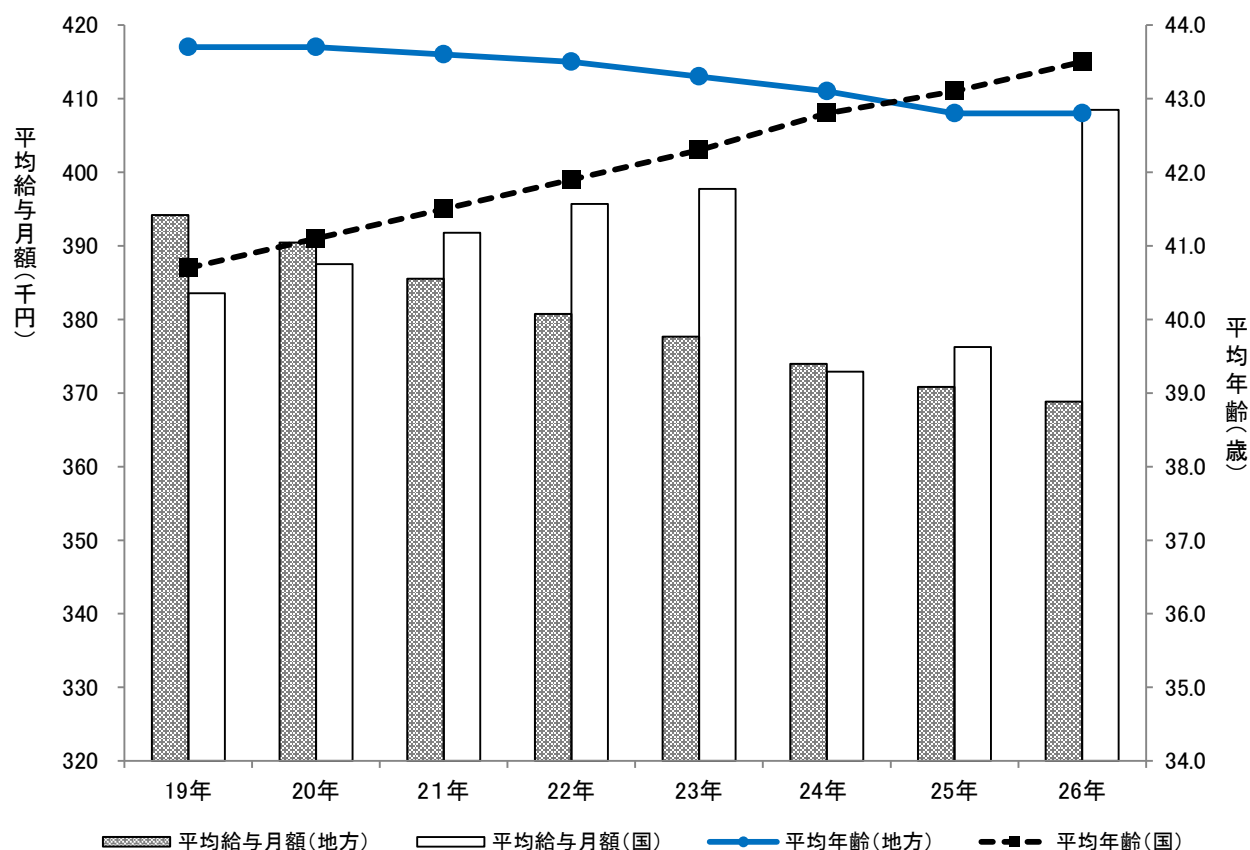
2 平均給与月額(全地方公共団体・一般行政職)

(単位:円)

区分		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
地方	平均給与月額	394,168	390,432	385,510	380,703	377,625	373,923	370,822	368,817
	平均給料月額	349,469	345,427	340,830	337,049	334,379	331,189	328,842	326,969
	諸手当月額	44,699	45,005	44,680	43,654	43,246	42,734	41,980	41,848
国	平均給与月額	383,541	387,506	391,770	395,666	397,723	372,906	376,257	408,472
	平均俸給月額	325,724	325,113	325,521	325,579	327,205	304,944	307,220	335,000
	諸手当月額	57,817	62,393	66,249	70,087	70,518	67,962	69,037	73,472

※諸手当月額は、比較のため、国の公表資料と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

※国家公務員の平均給与月額のうち、平成24年及び25年は給与改定・臨時特例法による給与減額措置後の値である。



3 その他

昨年度に引き続き、地域手当支給率を加味した「地域手当補正後ラスパイレス指数」、ラスパイレス指数に指定職を含めた場合の試算値についても算定し、公表。

・地域手当補正後ラスパイレス指数 全地方公共団体平均 98.8
(ラスパイレス指数との差 Δ0.1)

・ラスパイレス指数に指定職を含めた場合の試算値 全地方公共団体平均 98.3
(ラスパイレス指数との差 Δ0.6)

1 地方公務員給与実態調査結果等

1	ラスパイレス指数等の状況	P2
(1)	団体区分別の推移	P2
(2)	分布状況の推移	P2
(3)	都道府県のラスパイレス指数の状況	P3
(4)	指定都市のラスパイレス指数の状況	P3
(5)	中核市のラスパイレス指数の状況	P4
(6)	市区町村のラスパイレス指数の状況	P5
2	平均給与月額	P7
3	特殊勤務手当	P9
【参考】	地域手当補正後ラスパイレス指数	P10
【参考】	ラスパイレス指数に指定職を含めた場合の試算値	P11

平成26年12月

総務省

(連絡先)

自治行政局 公務員部 給与能率推進室

担当：土屋課長補佐・小比類巻係長

電話：03-5253-5551(直)

03-5253-5111(代)(内線23245、23252)

FAX：03-5253-5553

1 ラスパイレス指数等の状況

(1) 団体区別の推移

＜第1表 団体区別ラスパイレス指数(一般行政職)＞

区 分	S 49.4.1	H 6.4.1	H 16.4.1	H 25.4.1		H 26.4.1	増 減		
				指数	参考値		S49→H26	H25→H26	
							指数	指数	参考値
全地方公共 団体平均	110.6	102.1	97.9	106.9	98.8	98.9	△ 11.7	△ 8.0	0.1
都道府県	111.3	103.8	99.6	107.4	99.3	99.9	△ 11.4	△ 7.5	0.6
指定都市	116.1	105.7	100.2	109.1	100.8	100.1	△ 16.0	△ 9.0	△ 0.7
市	113.8	103.3	98.2	106.6	98.5	98.6	△ 15.2	△ 8.0	0.1
町 村	99.2	96.5	93.7	103.2	95.4	95.6	△ 3.6	△ 7.6	0.2
特別区	—	105.2	100.3	108.2	100.0	99.7	—	△ 8.5	△ 0.3

※1 S49.4.1の全地方公共団体平均(110.6)は、過去最高値。

※2 S49.4.1現在の全地方公共団体平均は、特別区を含んでいない。

※3 「参考値」は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値。

(2) 分布状況の推移

＜第2表 全地方公共団体のラスパイレス指数の分布状況(一般行政職)＞

(団体数)

区 分	S 49.4.1	H 6.4.1	H 16.4.1	H 25.4.1		H 26.4.1	増 減		
				指数	参考値		S49→H26	H25→H26	
							指数	指数	参考値
110以上	(23.9%) 793	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(4.8%) 86	(0.0%) 0	(0.0%) 0	△ 793	△ 86	0
105以上	(17.3%) 574	(6.2%) 206	(0.0%) 0	(44.9%) 803	(0.1%) 1	(0.1%) 1	△ 573	△ 802	0
100以上105未満	(18.9%) 628	(26.1%) 863	(7.2%) 229	(39.0%) 697	(15.9%) 284	(16.6%) 297	△ 331	△ 400	13
100未満	(39.8%) 1,321	(67.7%) 2,236	(92.8%) 2,941	(11.3%) 203	(84.1%) 1,504	(83.3%) 1,491	170	1,288	△ 13
内 訳	95以上 100未満	(38.7%) 1,278	(40.5%) 1,285	(9.8%) 175	(55.6%) 995	(57.0%) 1,020		845	25
	90以上 95未満	(39.8%) 1,321	(21.4%) 708	(38.2%) 1,210	(1.2%) 21	(24.8%) 443	170	385	△ 37
	90未満	(7.6%) 250	(14.1%) 446	(0.4%) 7	(3.7%) 66	(3.6%) 65		58	△ 1
合 計	(100.0%) 3,316	(100.0%) 3,305	(100.0%) 3,170	(100.0%) 1,789	(100.0%) 1,789	(100.0%) 1,789	△ 1,527	0	0

※1 S49.4.1には、特別区を含まない。

※2 S49.4.1及びS49→H26の増減のラスパイレス指数100未満の内訳については、分離できない。

(参考) 団体区別ラスパイレス指数の分布状況(一般行政職)H26.4.1現在 (団体数)

区 分	都道府県	指定都市	市	町村	特別区	
110以上	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.0%) 0	
105以上110未満	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(0.1%) 1	(0.0%) 0	(0.0%) 0	
100以上105未満	(46.8%) 22	(80.0%) 16	(26.2%) 202	(5.3%) 49	(34.8%) 8	
100未満	(53.2%) 25	(20.0%) 4	(73.6%) 567	(94.7%) 880	(65.2%) 15	
内 訳	95以上 100未満	(51.1%) 24	(15.0%) 3	(60.8%) 468	(54.9%) 510	(65.2%) 15
	90以上 95未満	(2.1%) 1	(5.0%) 1	(11.7%) 90	(33.8%) 314	(0.0%) 0
	90未満	(0.0%) 0	(0.0%) 0	(1.2%) 9	(6.0%) 56	(0.0%) 0
合 計	(100.0%) 47	(100.0%) 20	(100.0%) 770	(100.0%) 929	(100.0%) 23	

(3) 都道府県のラスパイレス指数の状況《指数が高い順》

＜第3表 都道府県のラスパイレス指数＞

順位	都道府県名	H26.4.1	H25.4.1		
			指数	参考値	順位
1	愛知県	102.9	108.7	100.4	14
2	静岡県	102.7	111.3	102.8	1
3	東京都	102.5	111.1	102.7	2
4	三重県	101.8	109.1	100.9	10
4	福岡県	101.8	110.2	101.9	3
6	栃木県	101.7	110.2	101.9	3
7	秋田県	101.6	106.9	98.8	33
7	埼玉県	101.6	109.8	101.5	5
9	茨城県	101.3	109.3	101.0	7
9	千葉県	101.3	109.7	101.4	6
11	群馬県	101.1	109.3	101.0	7
12	福島県	100.7	109.0	100.7	11
12	滋賀県	100.7	107.9	99.7	21
12	奈良県	100.7	108.7	100.4	14
12	山口県	100.7	108.3	100.1	19
16	山形県	100.6	108.8	100.5	12
17	熊本県	100.5	108.8	100.6	12
18	山梨県	100.3	108.3	100.1	19
19	新潟県	100.2	108.5	100.2	17
19	和歌山県	100.2	108.6	100.3	16
21	広島県	100.0	107.7	99.5	25
21	大分県	100.0	108.5	100.3	17
23	石川県	99.9	107.6	99.4	26
24	宮城県	99.8	109.2	100.9	9

順位	都道府県名	H26.4.1	H25.4.1		
			指数	参考値	順位
25	神奈川県	99.7	105.9	97.9	38
25	岡山県	99.7	107.8	99.6	22
27	大阪府	99.6	101.2	93.5	46
28	佐賀県	99.4	107.8	99.6	22
29	福井県	99.3	107.5	99.3	27
29	徳島県	99.3	105.0	97.0	44
31	青森県	99.1	107.2	99.1	29
32	富山県	98.9	107.8	99.6	22
32	愛媛県	98.9	107.1	98.9	30
32	長崎県	98.9	107.3	99.2	28
35	京都府	98.7	107.1	98.9	30
35	沖縄県	98.7	107.0	98.9	32
37	長野県	98.6	106.5	98.4	35
38	岐阜県	98.5	106.4	98.3	37
39	岩手県	98.3	106.5	98.5	35
40	高知県	98.2	106.7	98.6	34
41	香川県	98.0	105.9	97.9	38
42	兵庫県	97.8	105.8	97.8	40
43	宮崎県	97.7	105.8	97.8	40
44	島根県	97.6	105.5	97.5	43
45	鹿児島県	97.2	105.8	97.7	40
46	北海道	95.7	101.9	94.1	45
47	鳥取県	91.8	99.1	91.6	47

(4) 指定都市のラスパイレス指数の状況《指数が高い順》

＜第4表 指定都市のラスパイレス指数＞

順位	指定都市名	H26.4.1	H25.4.1		
			指数	参考値	順位
1	川崎市	104.0	112.3	103.8	1
2	横浜市	103.4	111.9	103.4	2
2	北九州市	103.4	111.5	103.0	4
4	静岡市	102.9	111.0	102.6	5
5	福岡市	102.7	110.7	102.3	6
6	千葉市	102.5	110.4	102.0	7
7	さいたま市	102.2	110.4	102.0	7
8	京都市	102.1	110.3	101.9	9
9	仙台市	101.5	109.5	101.2	11
9	神戸市	101.5	110.3	101.9	9

順位	指定都市名	H26.4.1	H25.4.1		
			指数	参考値	順位
11	名古屋市	101.1	111.6	103.1	3
12	岡山市	101.0	109.1	100.8	12
13	札幌市	100.4	108.8	100.5	13
14	相模原市	100.1	108.5	100.2	14
14	広島市	100.1	108.1	99.9	15
16	熊本市	100.0	107.7	99.5	16
17	新潟市	99.0	107.3	99.2	17
18	浜松市	97.9	105.9	97.9	18
19	堺市	95.1	102.7	94.9	20
20	大阪市	91.5	104.4	96.4	19

(5) 中核市(全43市)のラスパイルス指数の状況《指数が高い順》

＜第5表 中核市(全43市)のラスパイルス指数＞

順位	中核市名	H26.4.1	H25.4.1		
			指数	参考値	順位
1	郡山市	102.8	111.3	102.8	2
2	宇都宮市	102.3	110.5	102.1	3
3	大津市	102.2	110.5	102.1	3
4	岐阜市	101.9	109.8	101.5	10
4	豊田市	101.9	110.2	101.8	6
6	柏市	101.8	110.1	101.7	8
7	姫路市	101.7	110.0	101.6	9
7	西宮市	101.7	111.5	103.0	1
9	川越市	101.5	109.1	100.8	16
10	倉敷市	101.3	109.4	101.1	12
11	いわき市	101.2	109.4	101.1	12
11	船橋市	101.2	110.2	101.9	6
11	岡崎市	101.2	109.7	101.4	11
14	下関市	101.0	108.7	100.5	20
15	大分市	100.9	110.3	101.9	5
16	福山市	100.8	109.2	100.9	15
17	豊中市	100.7	107.0	98.8	36
17	鹿児島市	100.7	109.1	100.8	16
19	富山市	100.4	108.8	100.6	19
19	高知市	100.4	108.1	99.9	23
21	宮崎市	100.2	108.4	100.2	21
22	松山市	99.9	108.1	99.9	23

順位	中核市名	H26.4.1	H25.4.1		
			指数	参考値	順位
23	盛岡市	99.8	108.1	99.9	23
23	金沢市	99.8	108.2	100.0	22
25	高崎市	99.7	107.5	99.4	29
25	和歌山市	99.7	107.5	99.3	29
27	久留米市	99.5	107.8	99.6	27
28	長野市	99.3	107.4	99.3	31
29	秋田市	99.2	108.1	99.9	23
30	前橋市	99.1	107.1	99.0	34
31	東大阪市	99.0	107.6	99.4	28
32	旭川市	98.9	107.0	98.9	36
33	青森市	98.8	107.3	99.1	32
34	長崎市	98.7	107.1	99.0	34
35	高槻市	98.6	106.9	98.8	38
36	尼崎市	97.9	106.3	98.2	39
37	那覇市	97.5	106.1	98.0	40
38	横須賀市	97.3	109.3	101.0	14
38	奈良市	97.3	105.6	97.5	41
40	高松市	96.8	107.3	99.2	32
41	枚方市	96.2	106.7	98.6	-
42	豊橋市	96.0	109.0	100.8	18
43	函館市	93.7	99.6	92.0	42

※枚方市は、平成26年4月1日に中核市に移行した。

(6) 市区町村(指定都市及び中核市を除く全1,679団体)のラスパイレス指数の状況

<第6表 市区町村のラスパイレス指数上位50団体及び下位50団体>

(上位団体)

順位	市区町村名		H26.4.1	H25.4.1		
				指数	参考値	順位
1	兵庫県	芦屋市	105.8	114.0	105.3	1
2	埼玉県	川口市	103.8	111.5	103.0	8
2	千葉県	神崎町	103.8	111.5	102.9	8
4	広島県	竹原市	103.7	110.7	102.2	34
5	東京都	武蔵野市	103.6	111.8	103.2	6
6	埼玉県	上尾市	103.5	111.1	102.6	17
7	千葉県	市川市	103.4	111.5	103.0	8
7	千葉県	松戸市	103.4	112.0	103.5	4
7	千葉県	袖ヶ浦市	103.4	111.1	102.7	17
10	東京都	福生市	103.3	111.3	102.8	11
11	埼玉県	桶川市	103.2	111.0	102.6	22
11	埼玉県	滑川町	103.2	110.8	102.4	30
13	埼玉県	戸田市	102.9	111.1	102.7	17
13	三重県	四日市市	102.9	111.2	102.7	14
15	埼玉県	和光市	102.8	110.3	101.9	47
15	千葉県	市原市	102.8	111.2	102.7	14
15	東京都	青梅市	102.8	109.3	100.9	101
18	千葉県	我孫子市	102.7	111.1	102.6	17
18	東京都	小金井市	102.7	111.1	102.6	17
20	東京都	町田市	102.6	111.3	102.9	11
21	千葉県	大網白里市	102.5	109.9	101.5	64
22	北海道	置戸町	102.4	109.5	101.1	86
22	埼玉県	越谷市	102.4	111.0	102.5	22
22	千葉県	東金市	102.4	109.5	101.2	86
22	静岡県	熱海市	102.4	111.0	102.5	22
22	滋賀県	草津市	102.4	109.5	101.2	86
22	京都府	宇治市	102.4	109.0	100.6	129

順位	市区町村名		H26.4.1	H25.4.1		
				指数	参考値	順位
22	長崎県	時津町	102.4	111.0	102.5	22
29	埼玉県	熊谷市	102.3	111.6	103.0	7
29	埼玉県	八潮市	102.3	110.5	102.0	39
29	静岡県	御殿場市	102.3	110.6	102.2	37
29	愛知県	小牧市	102.3	110.2	101.8	52
29	京都府	舞鶴市	102.3	110.2	101.8	52
29	福岡県	行橋市	102.3	110.3	101.9	47
35	東京都	調布市	102.2	110.8	102.3	30
35	神奈川県	藤沢市	102.2	110.7	102.3	34
35	愛知県	岩倉市	102.2	110.9	102.5	28
38	神奈川県	南足柄市	102.1	108.0	99.7	252
38	愛知県	東海市	102.1	111.3	102.9	11
38	大阪府	富田林市	102.1	106.8	98.6	413
38	福岡県	大野城市	102.1	109.5	101.1	86
42	埼玉県	蕨市	102.0	109.8	101.4	68
42	千葉県	印西市	102.0	109.4	101.0	93
42	静岡県	沼津市	102.0	110.7	102.3	34
42	静岡県	富士市	102.0	110.1	101.8	57
42	静岡県	藤枝市	102.0	110.4	102.0	42
47	愛知県	豊川市	101.9	110.2	101.8	52
48	埼玉県	入間市	101.8	110.6	102.2	37
48	千葉県	横芝光町	101.8	109.8	101.5	68
48	東京都	国分寺市	101.8	110.4	102.0	42
48	神奈川県	綾瀬市	101.8	110.1	101.7	57
48	静岡県	三島市	101.8	111.0	102.5	22
48	愛知県	犬山市	101.8	110.8	102.4	30
48	兵庫県	明石市	101.8	110.2	101.8	52

(下位団体)

順位	市区町村名		H26.4.1	H25.4.1		
				指数	参考値	順位
1	大分県	姫島村	74.9	78.6	72.5	1
2	新潟県	粟島浦村	75.7	79.6	73.4	2
3	北海道	夕張市	76.6	83.1	76.7	3
4	沖縄県	多良間村	79.2	88.2	81.4	6
5	沖縄県	与那国町	81.3	89.7	82.7	7
6	青森県	大鱈町	82.7	87.7	81.0	5
7	東京都	青ヶ島村	83.5	95.2	88.3	30
8	北海道	留萌市	84.3	85.5	79.0	4
9	鹿児島県	与論町	84.5	90.9	83.9	8
10	愛媛県	上島町	84.9	91.4	84.4	11
11	京都府	笠置町	85.3	90.9	83.9	8
12	福井県	池田町	85.6	93.4	86.2	18
13	鹿児島県	伊仙町	85.9	91.0	84.0	10
14	鹿児島県	徳之島町	86.2	93.5	86.4	20
14	沖縄県	座間味村	86.2	92.2	85.0	12
14	沖縄県	伊平屋村	86.2	92.3	85.3	13
17	埼玉県	皆野町	86.4	93.0	85.9	16
18	石川県	中能登町	86.6	93.0	85.9	16
19	東京都	三宅村	86.8	96.2	88.9	43
19	石川県	穴水町	86.8	92.8	85.8	14
19	奈良県	天川村	86.8	93.9	86.7	21
22	和歌山県	高野町	87.1	96.2	88.9	43
22	愛媛県	伊方町	87.1	95.3	88.0	31
24	沖縄県	渡名喜村	87.4	94.3	87.1	26
25	愛媛県	愛南町	87.5	94.0	86.8	22

順位	市区町村名		H26.4.1	H25.4.1		
				指数	参考値	順位
26	奈良県	下北山村	87.6	94.0	86.7	22
26	沖縄県	栗国村	87.6	93.4	86.2	18
28	石川県	宝達志水町	87.8	94.2	86.9	25
28	沖縄県	南大東村	87.8	95.6	88.3	35
30	青森県	黒石市	87.9	94.7	87.5	28
31	神奈川県	真鶴町	88.0	97.7	90.2	71
31	和歌山県	湯浅町	88.0	99.3	91.7	154
33	新潟県	佐渡市	88.2	99.0	91.4	130
34	長野県	壳木村	88.3	96.9	89.3	54
34	大阪府	泉佐野市	88.3	95.8	88.4	38
36	岐阜県	安八町	88.4	97.1	89.5	57
36	岐阜県	東白川村	88.4	96.2	88.7	43
36	鹿児島県	阿久根市	88.4	96.0	88.7	41
39	沖縄県	東村	88.5	94.3	87.0	26
40	長野県	南相木村	88.6	97.9	90.5	79
41	秋田県	八郎潟町	88.7	95.5	88.4	33
41	東京都	八丈町	88.7	98.9	91.4	122
43	秋田県	井川町	88.9	95.0	87.8	29
44	東京都	新島村	89.0	96.9	89.5	54
45	群馬県	上野村	89.1	95.9	88.6	40
45	長野県	青木村	89.1	99.5	91.8	163
47	東京都	御蔵島村	89.2	92.8	85.6	14
47	沖縄県	北大東村	89.2	94.1	86.9	24
49	岐阜県	関ヶ原町	89.3	97.3	89.8	64
49	奈良県	三宅町	89.3	98.2	90.7	87

2 平均給与月額

<第7表 職種別平均給与月額(全地方公共団体)>

(単位:歳・円)

職種区分	年	平均年齢	平均給料月額	諸手当月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)	国家公務員			
							平均年齢	平均俸給月額	平均給与月額	
全職種	H26	42.4	336,551	83,290	419,841	377,524	43.3	344,668	415,426	
	H25	42.5	337,404	82,629	420,033	378,380	43.0	318,352 (343,646)	384,842 (413,983)	
主な内訳	一般行政職	H26	42.8	326,969	81,365	408,334	368,817	43.5	335,000	408,472
		H25	42.8	328,842	80,177	409,019	370,822	43.1	307,220 (332,446)	376,257 (405,463)
	技能労務職	H26	48.8	318,107	61,336	379,443	355,261	50.1	287,992	326,611
		H25	48.3	319,325	61,370	380,695	356,855	49.9	272,119 (286,850)	309,534 (325,400)
	高等学校教育職	H26	44.8	383,787	60,727	444,514	421,124	—	—	—
		H25	44.8	383,266	60,590	443,856	420,485	—	—	—
	小・中学校教育職	H26	43.4	367,201	53,239	420,440	403,901	—	—	—
		H25	43.6	367,031	52,724	419,755	403,243	—	—	—
	警察職	H26	38.8	321,974	141,386	463,360	366,254	41.3	316,666	367,707
		H25	39.0	320,810	140,939	461,749	364,672	41.2	297,683 (316,267)	346,775 (367,489)

※ 1 「平均給料月額」とは、給料の調整額及び教職調整額を含む。

2 「諸手当月額」とは、月ごとに支払われることとされている扶養手当、地域手当、住居手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当等の諸手当の額を合計したものである。
(期末手当、勤勉手当、寒冷地手当、任期付研究員業績手当、特定任期付職員業績手当及び災害派遣手当は含まない。)

3 「平均給与月額」とは、平均給料月額と諸手当月額を合計したものであり、「平均給与月額(国比較ベース)」とは、比較のため国の公表資料と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

4 「高等学校教育職」には特別支援学校、専修・各種学校の教員を含み、「小・中学校教育職」には幼稚園の教員を含む。

5 国家公務員の数値については、「国家公務員給与等実態調査(人事院)」の結果によるものであり、一般行政職は行政職俸給表(一)、技能労務職は行政職俸給表(二)、警察職は公安職俸給表(一)の数値である。

6 国家公務員の「平均俸給月額」及び「平均給与月額」欄の下段括弧書きは、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

<第8表 団体区分別平均給与月額(一般行政職・H26)>

(単位:歳・円)

団体区分	平均年齢	平均給料月額	諸手当月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
全地方公共団体	42.8	326,969	81,365	408,334	368,817
都道府県	43.4	335,401	85,967	421,368	375,393
指定都市	42.3	328,318	110,297	438,615	386,312
市	42.5	324,410	75,114	399,524	363,518
町村	42.3	311,569	46,824	358,393	338,815
特別区	42.3	322,094	120,091	442,185	399,326
国	43.5	335,000	—	—	408,472

※ 平均給料月額、諸手当月額、平均給与月額及び平均給与月額(国比較ベース)は、第7表に同じ。

3 特殊勤務手当

<第9表 団体区分別特殊勤務手当(4月分支給額・全職種・職員1人当たり)>

団体区分	H16		H25		H26		H25 → H26		H16 → H26	
	支給額	職員1人当たり	支給額	職員1人当たり	支給額	職員1人当たり	支給額	職員1人当たり	支給額	職員1人当たり
全地方公共団体	(百万円) 17,695	(円) 5,744	(百万円) 15,581	(円) 5,653	(百万円) 15,550	(円) 5,667	(百万円) △ 31	(円) 14	(百万円) △ 2,145	(円) △ 77
都道府県	6,950	4,288	7,011	4,649	6,962	4,634	△ 49	△ 15	12	346
指定都市	2,451	10,311	1,113	4,621	1,049	4,412	△ 64	△ 209	△ 1,402	△ 5,899
市	5,250	7,573	5,284	7,450	5,230	7,420	△ 54	△ 30	△ 20	△ 153
町村	1,059	3,234	566	4,066	562	4,064	△ 4	△ 2	△ 497	830
特別区	212	2,915	59	963	57	941	△ 2	△ 22	△ 155	△ 1,974

<第10表 職種別特殊勤務手当 職種別職員数及び職員1人当たり支給額(4月分)の推移>

職種区分	H16		H25		H26		H25 → H26	H16 → H26
	職員数	職員1人当たり	職員数	職員1人当たり	職員数	職員1人当たり	職員1人当たり	職員1人当たり
全職種	(人) 3,080,524	(円) 5,744	(人) 2,756,186	(円) 5,653	(人) 2,743,885	(円) 5,667	(円) 14	(円) △ 77
一般行政職	953,116	907	832,814	427	834,129	413	△ 14	△ 494
医師・歯科医師職	22,588	169,993	12,289	224,165	11,315	230,232	6,067	60,239
看護・保健職	153,299	16,208	94,425	13,498	89,710	13,126	△ 372	△ 3,082
消防職	153,772	7,867	157,658	5,830	157,916	5,922	92	△ 1,945
高等学校教育職	253,610	2,444	240,465	4,758	241,394	4,830	72	2,386
小・中学校教育職	620,575	1,763	603,715	2,858	601,249	2,953	95	1,190
警察職	241,913	10,646	256,026	9,119	256,828	9,005	△ 114	△ 1,641

※ 「高等学校教育職」には特別支援学校、専修・各種学校の教員を含み、「小・中学校教育職」には幼稚園の教員を含む。

(参考) 1人当たりの手当支給額の多い職種における特殊勤務手当の例

区分	特殊勤務手当の例
医師・歯科医師職	・緊急診療手当(緊急の診療業務のため、勤務時間外に待機を命ぜられ、緊急業務に従事したとき)など
看護・保健職	・救急呼出手当(勤務時間外に救急業務に従事したとき)など
消防職	・消防業務手当(火災その他災害等の現場に出動した場合) ・緊急出勤手当(緊急の業務のため出勤した場合)など
高等学校教育職 小・中学校教育職	・教員特殊業務手当(災害時の緊急業務、引率指導業務、部活動の指導に従事したとき) ・教育業務連絡指導手当(学年主任等に対し支給)など
警察職	・銃器犯罪捜査従事手当(銃器を使用した犯人等の逮捕業務) ・爆発物処理作業手当(爆発物の回収、解体、爆破等の業務)など

[参考] 地域手当補正後ラスパイレス指数

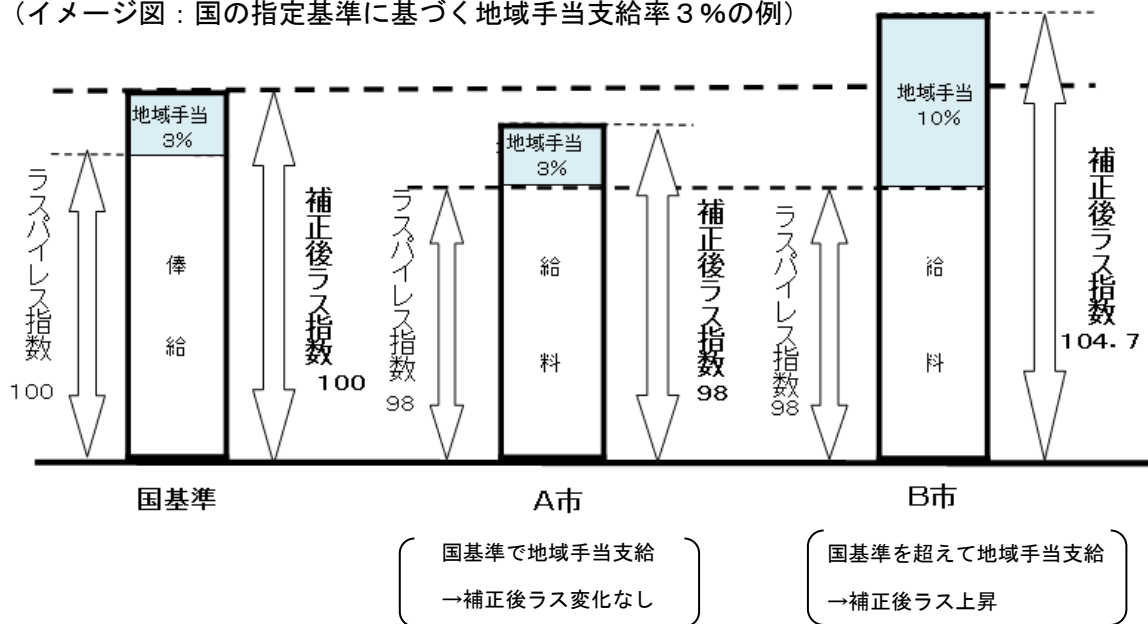
平成18年度からの国の給与構造改革に伴い、給料表の引き下げとともに、地域の民間賃金水準を基礎とした客観的な支給基準に基づく地域手当が導入されたことから、地域手当を加味した、地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数（地域手当補正後ラスパイレス指数）を参考として算出したものである。

1 地域手当補正後ラスパイレス指数の算出方法

$$\text{地域手当補正後ラスパイレス指数} = \frac{\text{補正前のラスパイレス指数} \times (1 + \text{当該団体の地域手当支給率})}{1 + \text{国の指定基準に基づく地域手当支給率}^{\ast}}$$

※都道府県及び合併市町村については、分母を「1+国の指定基準に基づく地域手当の都道府県・合併市町村職員への加重平均支給率」として算出。

(イメージ図：国の指定基準に基づく地域手当支給率3%の例)



2 地域手当補正後ラスパイレス指数（団体区分別平均）

区 分	ラスパイレス指数	地域手当補正後	差 引 B - A
	A	ラスパイレス指数 B	
全地方公共団体	98.9	98.8	△ 0.1
都 道 府 県	99.9	99.5	△ 0.4
指 定 都 市	100.1	99.8	△ 0.3
市	98.6	98.7	0.1
町 村	95.6	95.8	0.2
特 別 区	99.7	99.7	0.0

[参考] ラスパイレス指数に指定職を含めた場合の試算値

国の本府省の事務次官や局長等の指定職俸給表適用職員については、その職務と責任が特殊であり、給与制度についても昇給制度の適用がなく扶養手当などが支給されない等、行政職俸給表（一）適用職員と異なることから、地方公務員の一般行政職と比較するラスパイレス指数の対象には含めていない。

しかし、地方公共団体から指定職を含めてラスパイレス比較を行った数値の算出要望が多く出ていることを踏まえ、今般、試みとして算出したものである。

1 指定職俸給表が適用される主な官職

号俸	主な官職
八号俸	事務次官、 会計検査院事務総長、人事院事務総長、 警察庁長官、金融庁長官、消費者庁長官 等
七号俸	警視總監
六号俸	会計検査院事務総局次長、内閣府審議官、 公正取引委員会事務総長、警察庁次長、 総務審議官、外務審議官、財務官、技監、 原子力規制庁長官、経済社会総合研究所長 等
五号俸	試験所・研究所・病院又は療養所の長 等
四号俸	内部部局の長、 試験所・研究所・病院又は療養所の長 等
三号俸	外局の次長、 試験所・研究所・病院又は療養所の長 等
一号俸又は二号俸	本府省の部長 等、 その他上記に掲げる施設以外の長 等

指定職俸給表適用職員数（平成26年4月1日現在） 860人
 （行政職俸給表（一）適用職員数（ " ） 141,574人）

2 ラスパイレス指数に指定職を含めた場合の試算値（団体区分別平均）

＜試算方法＞

- ① 指定職俸給表適用職員については、上記860人全てを含める。
- ② 指定職には管理職手当が支給されず、指定職の俸給額（給料額）には管理職手当相当額も含まれていると考えられることから、管理職手当相当額を減じて計算する。
- ③ ①②を踏まえて、「平成26年国家公務員給与等実態調査」による「行政職俸給表（一）」と「指定職俸給表」の2つの集計表の「人員」「平均俸給額」を、経験年数階層別・学歴別に合算して仮定計算した「平均俸給額」を算出し、これを用いてラスパイレス指数と同様に算出する。

平成26年4月1日現在

区分	ラスパイレス指数 A	指定職を含めた 場合の試算値 B	差引 B - A
全地方公共団体	98.9	98.3	△ 0.6
都道府県	99.9	99.3	△ 0.6
指定都市	100.1	99.5	△ 0.6
市	98.6	98.0	△ 0.6
町村	95.6	95.1	△ 0.5
特別区	99.7	99.2	△ 0.5

2 他の給与関連調査結果

<参考1>

給与制度・運用の適正化状況 P13

<参考2>

地方公務員給与の「わたり」の状況について P14

<参考3>

地方公務員の地域手当について P17

<参考4>

地方公務員の自宅に係る住居手当について P18

<参考5>

技能労務職員の給与について P20

平成26年12月

総務省

(連絡先)

自治行政局 公務員部 給与能率推進室

担当：土屋課長補佐・酒井係長

電話：03-5253-5551(直)

03-5253-5111(代)(内線23245、23248)

<参考1>

給与制度・運用の適正化状況

平成25年度中において、給料表の適正化等給料の水準適正化のための措置を講じた団体は延べ82団体。また、諸手当や退職手当の適正化の取組を行った団体は延べ588団体であった。

○ 平成25年度中における給与適正化等の状況

(単位:団体)

区分	初任給基準 の是正	わたりの 適正化	給料表 の適正化	退職時特別 昇給等の 適正化	小計 (A)
都道府県	0	0	0	0	0
指定都市	1	0	0	0	1
市区	8	11	18	5	42
町村	2	7	10	20	39
計	11	18	28	25	82

区分	諸手当の適正化			退職手当 の是正	小計 (B)	合計 (A)+(B)
	特殊勤務 手当	住居手当	その他の 手当			
都道府県	11	2	5	9	27	27
指定都市	1	6	0	9	16	17
市区	52	75	44	123	294	336
町村	23	22	57	149	251	290
計	87	105	106	290	588	670

(注) 団体数は部分的な取組を含み、合計は延べ数である。

地方公務員給与の「わたり」の状況について

地方公務員給与の「わたり」とは、

- ① 給与決定に際し、級別職務分類表及び級別標準職務表に適合しない級へ格付を行うこと
 - ② ①の他、実質的にこれと同一の結果となる級別職務分類表、級別標準職務表又は給料表を定めること
- により、給与を支給することをいう。

○ 地方公務員法第24条第1項
職員の給与は、その職務と責任に応ずるものでなければならない。（職務給の原則）

「わたり」の制度のある団体（平成26年4月1日時点）

「わたり」の制度のある団体は **51団体（2.9%）**

〔対前年度比：▲18団体〕

（単位：団体）

区分	平成26年 4月1日時点	平成25年 4月1日時点	H26-H25	（参考） 平成21年 4月1日時点
全 団 体	51/1,789 (2.9%)	69/1,789 (3.9%)	▲18団体	221/1,847 (12.0%)
都道府県	0/47 (0.0%)	0/47 (0.0%)	増減なし	3/47 (6.4%)
指定都市	0/20 (0.0%)	0/20 (0.0%)	増減なし	1/18 (5.6%)
市	41/770 (5.3%)	52/769 (6.8%)	▲11団体	127/765 (16.6%)
町 村	10/929 (1.1%)	17/930 (1.8%)	▲7団体	90/994 (9.1%)
特別区	0/23 (0.0%)	0/23 (0.0%)	増減なし	0/23 (0.0%)

※ 各欄において、分子は「わたり」の制度がある団体数を、分母は区分別団体数を示す。

<参考2—②>

○ 地方公務員給与の「わたり」に係る状況

平成26年4月1日現在

都道府県名	団体数 (団体)	人数 (人)	市区町村名	対前年度比	
				(団体)	(人)
北海道	6	69	室蘭市、苫小牧市、登別市、八雲町、東神楽町、音威子府村	▲ 2	▲ 10
群馬県	0	0		▲ 1	▲ 2
埼玉県	3	1,079	川越市、草加市、越谷市	▲ 1	▲ 71
千葉県	0	0		▲ 1	▲ 69
神奈川県	1	18	鎌倉市	0	▲ 7
長野県	8	392	長野市、松本市、上田市、茅野市、南相木村、軽井沢町、飯島町、 王滝村	▲ 1	23
静岡県	0	0		▲ 2	▲ 31
三重県	1	1	紀宝町	0	0
大阪府	13	2,882	豊中市、池田市、高槻市、貝塚市、茨木市、八尾市、富田林市、 大東市、箕面市、摂津市、藤井寺市、東大阪市、泉南市	▲ 2	▲ 100
奈良県	6	894	奈良市、大和郡山市、桜井市、生駒市、香芝市、安堵町	0	▲ 73
広島県	1	310	三次市	0	▲ 9
香川県	2	19	坂出市、直島町	0	▲ 18
大分県	6	962	大分市、別府市、日田市、佐伯市、宇佐市、由布市	▲ 3	▲ 190
宮崎県	3	221	小林市、日向市、えびの市	0	▲ 19
鹿児島県	0	0		▲ 5	▲ 1,289
沖縄県	1	10	名護市	0	▲ 2
合計	51	6,857		▲ 18	▲ 1,867

<参考2-③>

○「わたり」の制度を廃止済みの団体(経過的に実態が残っているもの)

平成26年4月1日現在

1 都道府県

北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県、愛知県、京都府、島根県、熊本県、沖縄県

2 指定都市

浜松市、熊本市

3 市町村 (指定都市を除く)

北海道	旭川市、帯広市、苫小牧市、石狩市、木古内町、七飯町、余市町、奈井江町、新十津川町、鷹栖町、美瑛町、小平町、芽室町、中標津町
青森県	弘前市、黒石市
岩手県	釜石市、金ヶ崎町
秋田県	秋田市
山形県	鶴岡市、酒田市、上山市、南陽市、大江町
福島県	郡山市
茨城県	下妻市、茨城町
栃木県	真岡市
千葉県	大多喜町
東京都	武蔵野市、小平市、日野市、東久留米市
神奈川県	横須賀市、小田原市
新潟県	上越市
長野県	伊那市
静岡県	熱海市
滋賀県	竜王町
京都府	城陽市、八幡市
大阪府	岸和田市、池田市、吹田市、守口市、枚方市、八尾市、河内長野市、和泉市、羽曳野市、門真市、高石市、四條畷市、阪南市、熊取町
奈良県	田原本町
鳥取県	米子市、境港市
岡山県	津山市
広島県	呉市
徳島県	阿南市
高知県	安芸市、四万十市、香美市、馬路村、越知町、三原村
大分県	中津市、竹田市、杵築市、国東市、日出町
宮崎県	串間市、西都市
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、出水市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、伊佐市
沖縄県	浦添市、沖縄市、うるま市

※ 参考2-②、参考2-③と重複がある団体は、「わたり」の制度が一部残っている団体である。

地方公務員の地域手当について

全地方公共団体の約2割の団体において、地域手当を支給している。そのうち、国基準を上回る支給率である団体は、78団体。

○ 地域手当の支給状況(平成26年4月1日時点)

区分	地域手当 支給団体数	国基準との比較			区分別 団体数
		同様	上回る	下回る	
全地方公共団体	418 (23.4%)	290 (16.2%)	78 (4.4%)	56 (3.1%)	1,789
都道府県	29 (61.7%)	5 (10.6%)	2 (4.3%)	23 (48.9%)	47
指定都市	18 (90.0%)	13 (65.0%)	0 (0.0%)	5 (25.0%)	20
市町村	348 (20.5%)	249 (14.7%)	76 (4.5%)	28 (1.6%)	1,699
特別区	23 (100.0%)	23 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23

※国支給地域であるが、実際には地域手当を支給していない団体(6団体)が一部みられるため、地域手当支給団体数欄から除いている。

※割合は、区分別団体数に対するものである。

○ 国基準を上回る支給率の団体

区分	団体数	団体名
都道府県分	2	東京都、兵庫県
市町村分	76	
内 訳	茨城県	1 東海村
	栃木県	1 宇都宮市
	群馬県	2 前橋市、高崎市
	埼玉県	9 熊谷市、川口市、所沢市、加須市、草加市、戸田市、朝霞市、久喜市、三芳町
	千葉県	7 木更津市、佐倉市、市原市、流山市、鎌ヶ谷市、君津市、芝山町
	東京都	8 三鷹市、東久留米市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町
	神奈川県	12 平塚市、藤沢市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、中井町、大井町、山北町、開成町、愛川町、清川村
	山梨県	1 昭和町
	長野県	2 長野市、松本市
	静岡県	8 富士宮市、富士市、焼津市、藤枝市、湖西市、清水町、長泉町、小山町
	愛知県	11 岡崎市、安城市、西尾市、東海市、大府市、知立市、高浜市、みよし市、長久手市、武豊町、幸田町
	三重県	5 亀山市、菰野町、朝日町、川越町、明和町
	京都府	4 向日市、木津川市、大山崎町、久御山町
	兵庫県	3 明石市、稲美町、播磨町
	福岡県	2 宗像市、苅田町

地方公務員の自宅に係る住居手当について

全地方公共団体の8割の団体（1,432団体／1,789団体、80.0%）が、自宅に係る住居手当を廃止している。

国においては、平成21年に自宅に係る住居手当が廃止されており、総務省としては、地方公共団体においても、廃止を基本とした見直しを行うことを助言している。

自宅に係る住居手当の制度のある団体（平成26年4月1日時点）

自宅に係る住居手当の制度のある団体は357団体（20.0%）

〔対前年比：▲97団体〕

（単位：団体）

区分	平成26年 4月1日時点	平成25年 4月1日時点	H26-H25
全 団 体	357／1,789 (20.0%)	454／1,789 (25.4%)	▲97団体
都道府県	0／47 (0.0%)	2／47 (4.3%)	▲2団体
指定都市	5／20 (25.0%)	10／20 (50.0%)	▲5団体
市町村	352／1,699 (20.7%)	419／1699 (24.7%)	▲67団体
特別区	0／23 (0.0%)	23／23 (100.0%)	▲23団体

※各欄において、分子は自宅に係る住居手当の制度のある団体数を、分母は区分別団体数を示す。
※「制度がない団体」には経過措置を設けている団体も含む。

<参考4-②>

自宅に係る住居手当の制度が残っている団体（平成26年4月1日現在）

○都道府県(0団体)

○指定都市(5団体)：札幌市、名古屋市、京都市、神戸市、広島市

○市区町村(指定都市を除く)

都道府県名	制度が残っている 団体数	市区町村数
北海道	122	178
青森県	0	40
岩手県	0	33
宮城県	0	34
秋田県	0	25
山形県	0	35
福島県	0	59
茨城県	2	44
栃木県	3	26
群馬県	0	35
埼玉県	35	62
千葉県	11	53
東京都	2	62
神奈川県	22	30
新潟県	0	29
富山県	0	15
石川県	0	19
福井県	0	17
山梨県	1	27
長野県	1	77
岐阜県	0	42
静岡県	6	33
愛知県	4	53
三重県	10	29
滋賀県	1	19
京都府	6	25
大阪府	0	41
兵庫県	16	40
奈良県	7	39
和歌山県	10	30
鳥取県	1	19
島根県	0	19
岡山県	2	26
広島県	0	22
山口県	10	19
徳島県	0	24
香川県	0	17
愛媛県	10	20
高知県	0	34
福岡県	34	58
佐賀県	1	20
長崎県	0	21
熊本県	6	44
大分県	16	18
宮崎県	0	26
鹿児島県	12	43
沖縄県	1	41
合計	352	1,722

技能労務職員の給与について

技能労務職員の給与については、平均年齢が上昇する中で抑制基調で推移してきている。

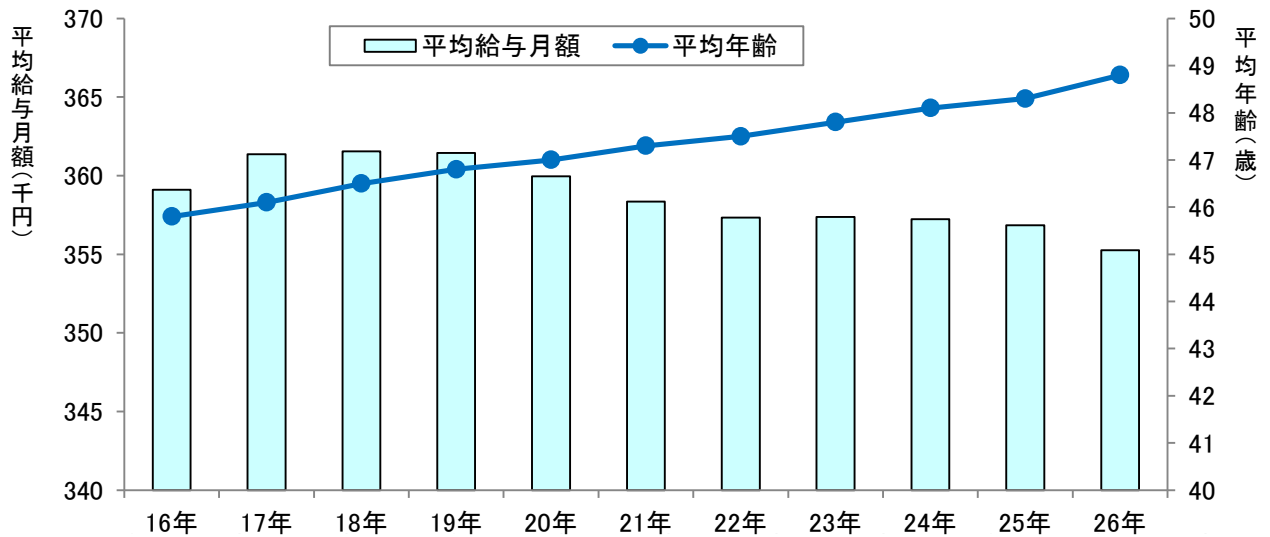
○ 技能労務職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額

区 分	地方公務員		
	平均年齢 (歳)	平均給料月額 (円)	平均給与月額 (円)
全地方公共 団体平均	48.8	318,107	355,261
都道府県	51.2	331,881	364,062
指定都市	47.8	318,044	371,159
市	48.7	323,094	351,126
町村	49.8	286,042	298,829
特別区	49.6	304,510	375,992

国家公務員		
平均年齢 (歳)	平均給料月額 (円)	平均給与月額 (円)
50.1	287,992	326,611

※1 「平均給与月額」は、比較のため国の公表資料と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

※2 国家公務員については、行政職俸給表(二)の数値である。



	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
平均給与月額	359,113	361,361	361,543	361,455	359,968	358,347	357,334	357,370	357,233	356,855	355,261
平均給料月額	322,349	324,754	325,802	324,414	322,142	319,982	319,174	319,086	318,959	319,325	318,107
諸手当月額	36,764	36,607	35,741	37,041	37,826	38,365	38,160	38,284	38,274	37,530	37,154
平均年齢	45.8	46.1	46.5	46.8	47.0	47.3	47.5	47.8	48.1	48.3	48.8

(参考)

技能労務職員の給与については、一般行政職と異なり、労使交渉を経て労働協約を締結することができるが、法律上、職務の内容や責任に応ずるものとしなければならないとされている(地方公営企業法第38条、地方公営企業等の労働関係に関する法律第7条、附則第5項)

平成26年12月22日

平成26年地方公共団体定員管理調査結果の概要

平成26年4月1日現在の地方公共団体定員管理調査結果の概要について、別添のとおりとりまとめましたので公表します。

(連絡先)

自治行政局 公務員部 給与能率推進室

担当：和泉課長補佐・原係長

電話：03-5253-5549(直)

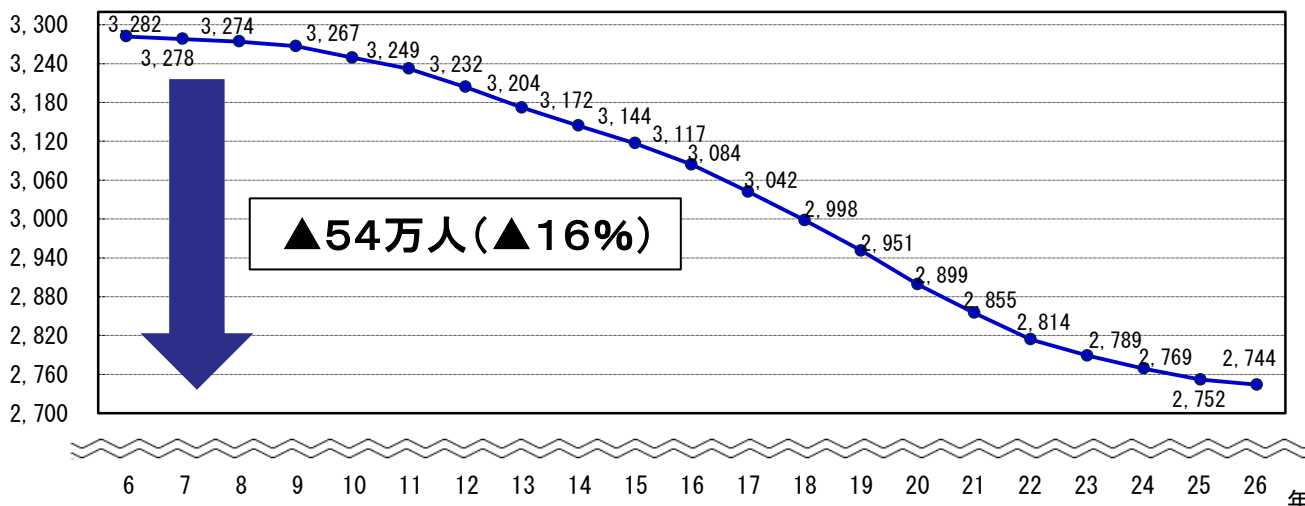
FAX：03-5253-5553

平成26年地方公共団体定員管理調査結果のポイント

(平成26年4月1日現在)

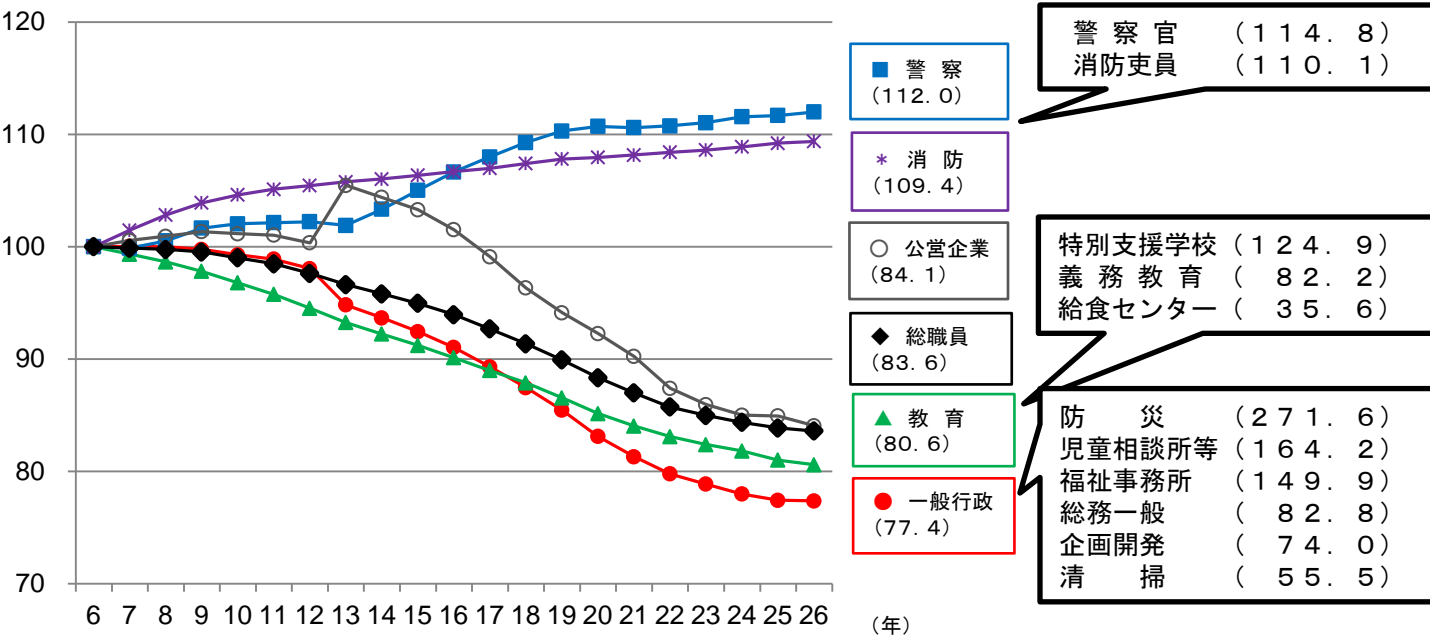
- 総職員数は、対前年比で約9千人減少し、約274万人。
平成6年をピークとして平成7年から20年連続で減少。
〔対平成6年比で約▲54万人(▲16%)〕

(単位:千人) 地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成26年)



- 部門別に見ると、警察・消防部門で微増する中、一般行政部門及び教育部門等で減少。特に一般行政部門においては、対平成6年比で▲23%と減少している中、防災は約2.7倍、児童相談所等は約1.6倍、福祉事務所は約1.5倍に増員。

平成6年からの部門別職員数の推移(平成6年を100とした場合の指数)



※平成13年度に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。

平成26年地方公共団体定員管理調査結果の概要 (平成26年4月1日現在)

- 1 地方公共団体の総職員数の推移P1
- 2 地方公共団体の部門別職員数の状況P2
- 3 地方公共団体の団体区分別職員数の状況P4

<参考>

- 団体区分別・部門別の職員数.....P5
- 職員数の推移.....P6
- 地方公共団体の総職員の推移(昭和40年～平成26年)・P7
- 都道府県職員数の増減状況.....P8
- 指定都市職員数の増減状況.....P9

平成26年12月

総務省

(連絡先)

自治行政局 公務員部 給与能率推進室

担当：和泉課長補佐・原係長

電話：03-5253-5549(直)

FAX：03-5253-5553

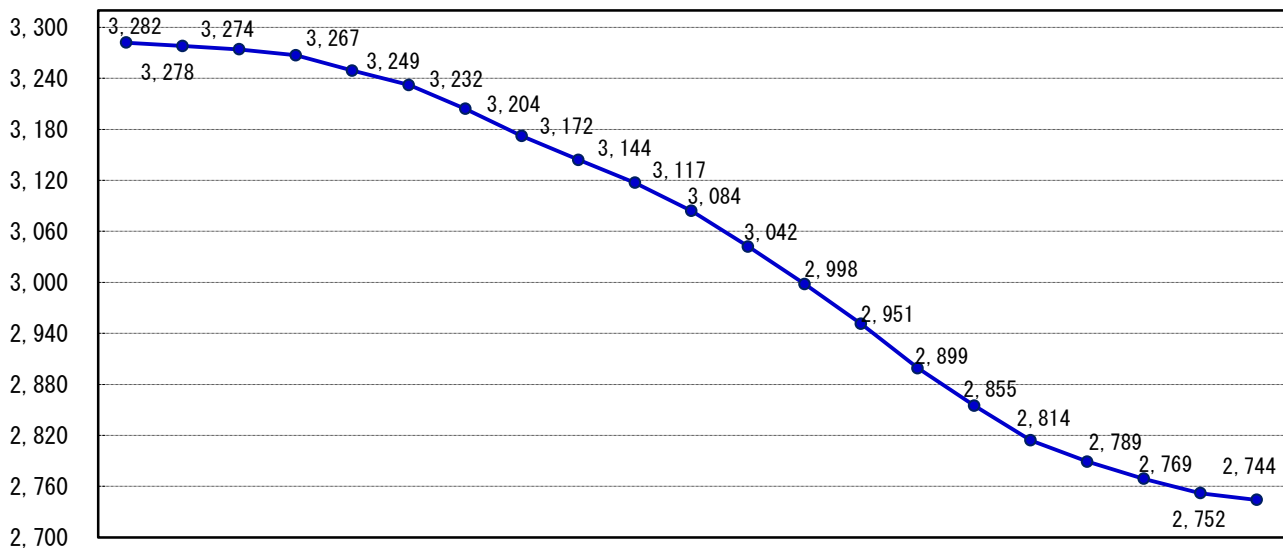
1 地方公共団体の総職員数の推移

○ 総職員数は、対前年比で8, 830人減少し、274万3, 654人。
平成6年をピークとして平成7年から20年連続で減少。

[対平成6年比で約▲54万人(▲16%)]

(単位:千人)

地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成26年)



地方公共団体の職員数の推移(各年4月1日現在)

(単位:人、%)

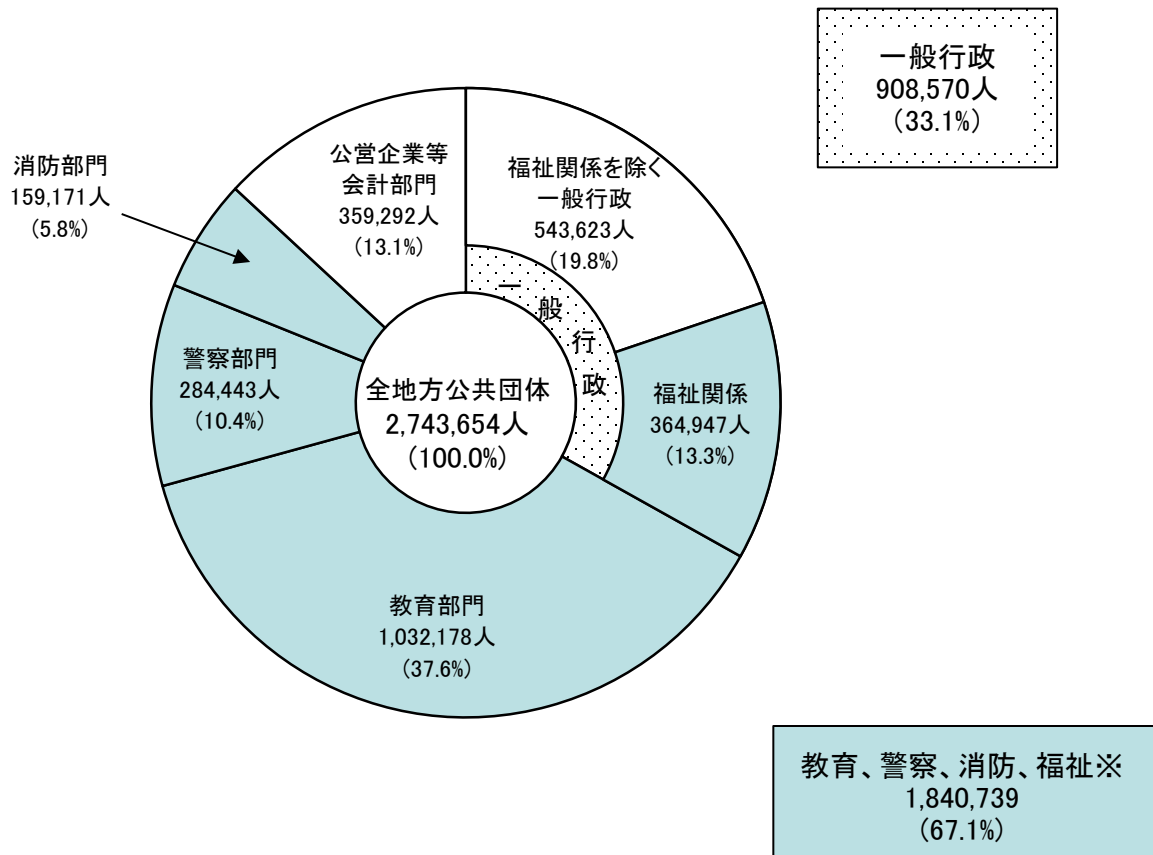
年	総数			一般行政部門		
	職員数	対前年増減数	対前年増減率	職員数	対前年増減数	対前年増減率
6	3,282,492	11,693	0.4	1,174,514	7,172	0.6
7	3,278,332	▲4,160	▲0.1	1,174,838	324	0.0
8	3,274,481	▲3,851	▲0.1	1,174,547	▲291	▲0.0
9	3,267,118	▲7,363	▲0.2	1,171,694	▲2,853	▲0.2
10	3,249,494	▲17,624	▲0.5	1,165,968	▲5,726	▲0.5
11	3,232,158	▲17,336	▲0.5	1,161,430	▲4,538	▲0.4
12	3,204,297	▲27,861	▲0.9	1,151,533	▲9,897	▲0.9
13	3,171,532	▲32,765	▲1.0	1,113,587	注) ▲37,946	▲3.3
14	3,144,323	▲27,209	▲0.9	1,100,039	▲13,548	▲1.2
15	3,117,004	▲27,319	▲0.9	1,085,585	▲14,454	▲1.3
16	3,083,597	▲33,407	▲1.1	1,069,151	▲16,434	▲1.5
17	3,042,122	▲41,475	▲1.3	1,048,860	▲20,291	▲1.9
18	2,998,402	▲43,720	▲1.4	1,027,128	▲21,732	▲2.1
19	2,951,296	▲47,106	▲1.6	1,003,432	▲23,696	▲2.3
20	2,899,378	▲51,918	▲1.8	976,014	▲27,418	▲2.7
21	2,855,106	▲44,272	▲1.5	954,775	▲21,239	▲2.2
22	2,813,875	▲41,231	▲1.4	936,951	▲17,824	▲1.9
23	2,788,989	▲24,886	▲0.9	926,249	▲10,702	▲1.1
24	2,768,913	▲20,076	▲0.7	915,869	▲10,380	▲1.1
25	2,752,484	▲16,429	▲0.6	909,340	▲6,529	▲0.7
26	2,743,654	▲8,830	▲0.3	908,570	▲770	▲0.1
26-6	—	▲538,838	▲16.4	—	▲265,944	▲22.6

注) 平成13年の減少数については、調査区分の変更により、一般行政部門から公営企業等会計部門に23,147人が移動しているためであり、その影響分を除いた場合の一般行政部門の増減数は、▲14,799人(▲1.3%)となる。

2 地方公共団体の部門別職員数の状況

- 行政分野別に見ると、国が定員に関する基準を幅広く定めている教育部門、警察部門、消防部門、福祉関係が約 2 / 3 を占めている。

部門別職員数(平成26年4月1日現在)



※国が定員に関する基準を幅広く定めている部門

[部門別の特色]

- 福祉関係を除く一般行政(議会、総務・企画、税務、労働、農林水産、商工、土木)
国の法令等による職員の配置基準が少なく、地方公共団体が主体的に職員配置を決める余地が比較的大きい部門である。
- 福祉関係(民生、衛生)
国の法令等による職員の配置基準が定められている場合が多く、また、職員配置が直接住民サービスに影響を及ぼす部門である。
- 教育部門、警察部門、消防部門
国の法令等に基づく配置基準等により、地方公共団体が主体的に職員配置の見直しを行うことが困難な部門である。
- 公営企業等会計部門(病院、水道、交通、下水道、その他)
独立採算を基調として企業経営の観点から定員管理が行われている部門である。

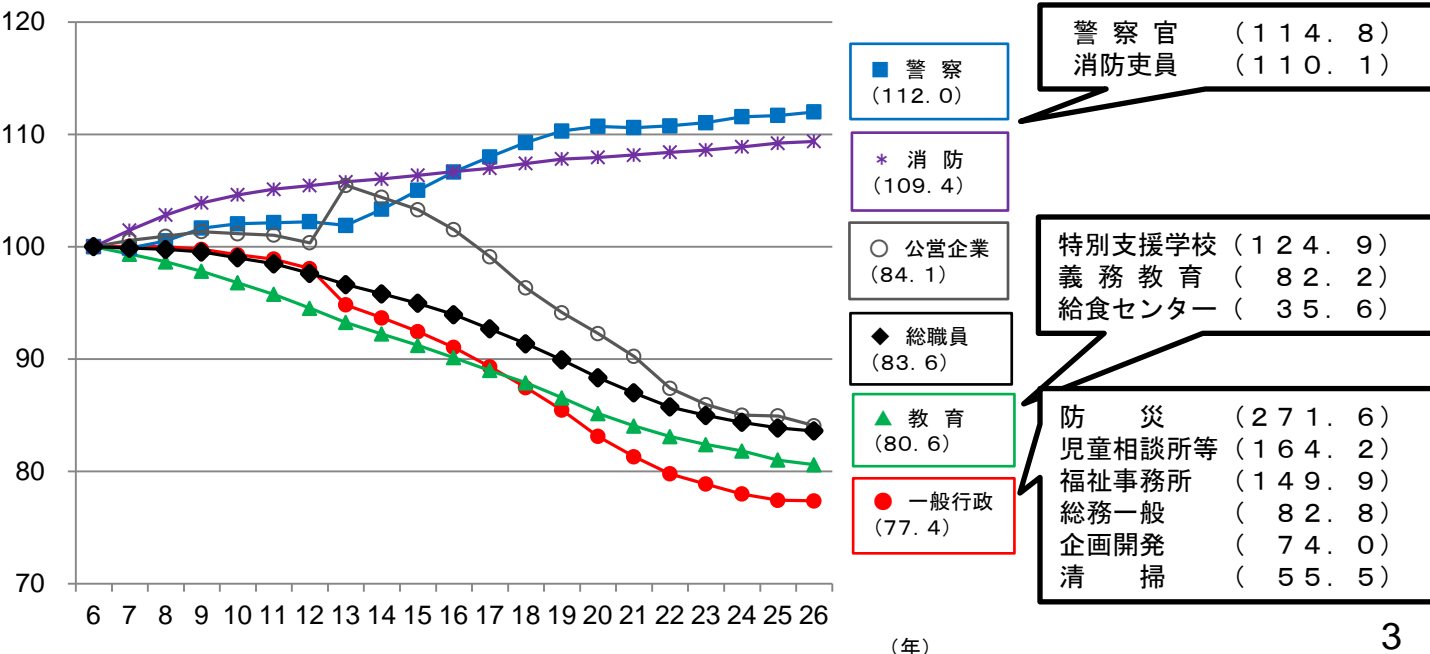
- 一般行政部門及び公営企業等会計部門は、組織の見直しや民間移譲・民間委託等により減少。教育部門は、児童・生徒数の減等により減少。
 (一般行政部門 : 対前年 ▲770人、▲0.1%)
 (教育部門 : 対前年 ▲5,349人、▲0.5%)
 (公営企業等会計部門 : 対前年 ▲3,733人、▲1.0%)
- 警察部門及び消防部門は、組織基盤の充実・強化のため増加。
 (警察部門 : 対前年 +799人、+0.3%)
 (消防部門 : 対前年 +223人、+0.1%)

部門別対前年比較における主な増減理由

(単位：人、%)

部門	H26	H25	対前年		主な増減理由
			増減数	増減率	
一般行政部門 ①	908,570	909,340	▲770	▲0.1	
福祉関係を除く 一般行政	543,623	543,484	139	0.0	・復興事業、防災等の体制充実による増員 ・組織の見直し、事務・事業の統廃合、民間委託等による減員
福祉関係	364,947	365,856	▲909	▲0.2	・保育所等福祉施設の民間移譲・民間委託等による減員 ・ごみ収集業務の民間委託等による減員
教育部門 ②	1,032,178	1,037,527	▲5,349	▲0.5	・児童・生徒数の減少に伴う学校統廃合や学級数減による減員 ・学校給食・学校用務業務の民間委託等による減員
警察部門 ③	284,443	283,644	799	0.3	・組織基盤の充実・強化による増員
消防部門 ④	159,171	158,948	223	0.1	・組織基盤の充実・強化による増員
公営企業等会計部門 ⑤	359,292	363,025	▲3,733	▲1.0	・病院の独立行政法人化に伴う減員 ・水道・交通事業の民間委託等による減員
合計 ①～⑤	2,743,654	2,752,484	▲8,830	▲0.3	
(再掲) 一般行政部門等 ①+⑤	1,267,862	1,272,365	▲4,503	▲0.4	

平成6年からの部門別職員数の推移(平成6年を100とした場合の指数)

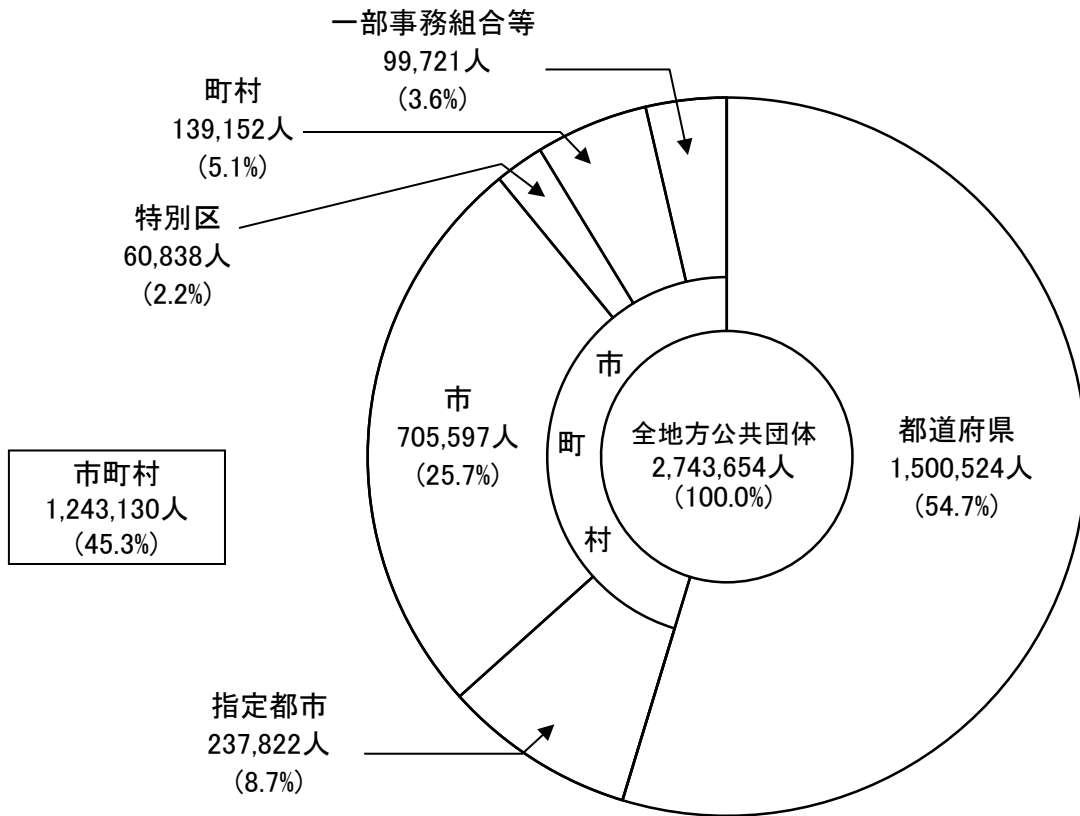


※平成13年度に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。

3 地方公共団体の団体区分別職員数の状況

- 都道府県の総職員数は、150万524人（54.7%）であり、23年連続して減少。
- 市町村の総職員数は、124万3,130人（45.3%）であり、18年連続して減少。

団体区分別職員数の構成(平成26年4月1日現在)



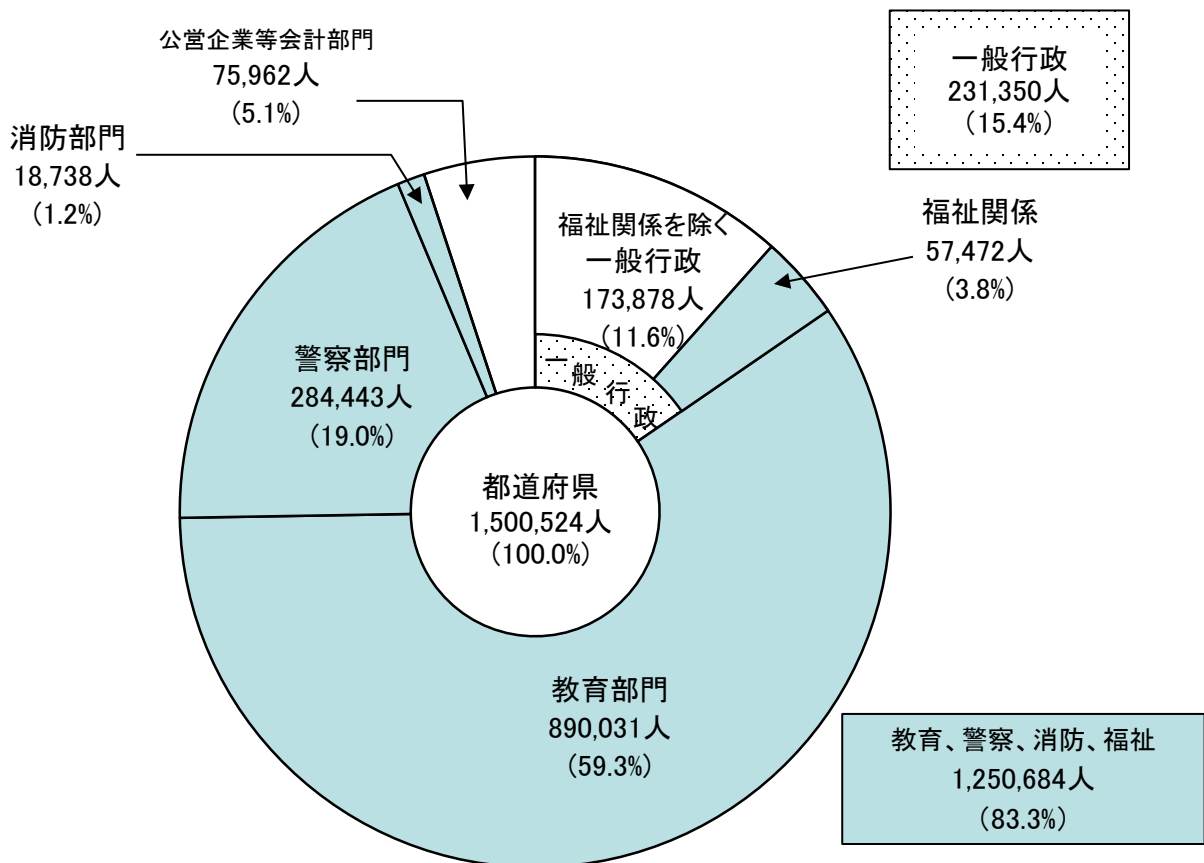
団体区分別職員数の推移(各年4月1日現在)

(単位：人、%)

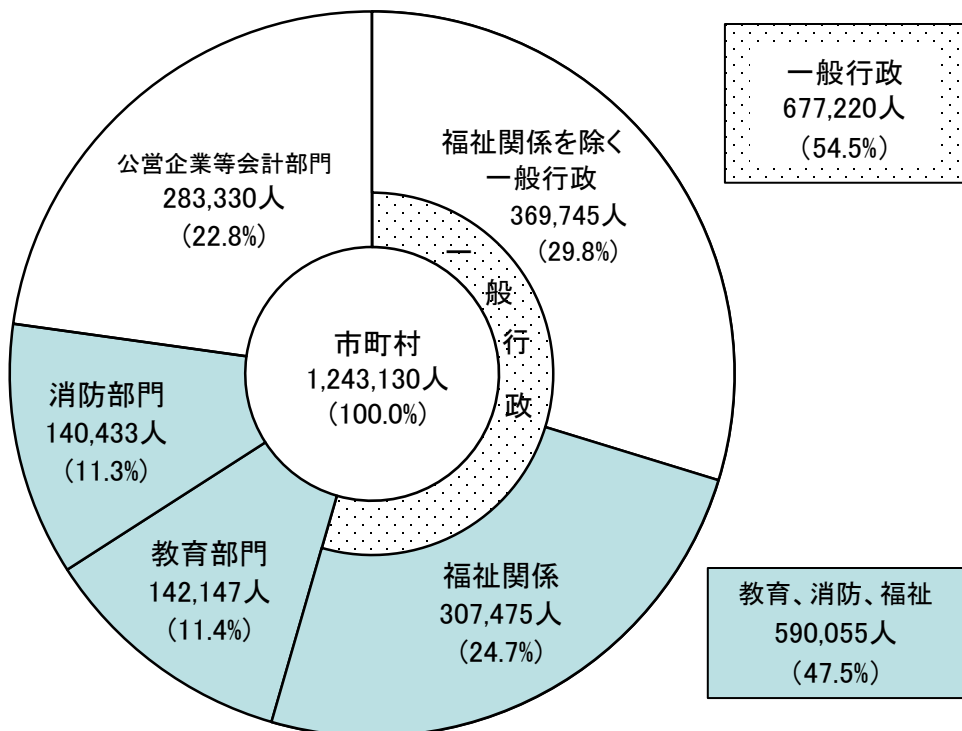
団体区分	H26	H25	対前年	
			増減数	増減率
都道府県	1,500,524	1,502,735	▲ 2,211	▲ 0.1
市町村	1,243,130	1,249,749	▲ 6,619	▲ 0.5
指定都市	237,822	240,776	▲ 2,954	▲ 1.2
その他市町村等	1,005,308	1,008,973	▲ 3,665	▲ 0.4
合計	2,743,654	2,752,484	▲ 8,830	▲ 0.3

団体区分別・部門別の職員数

① 都道府県



② 市町村



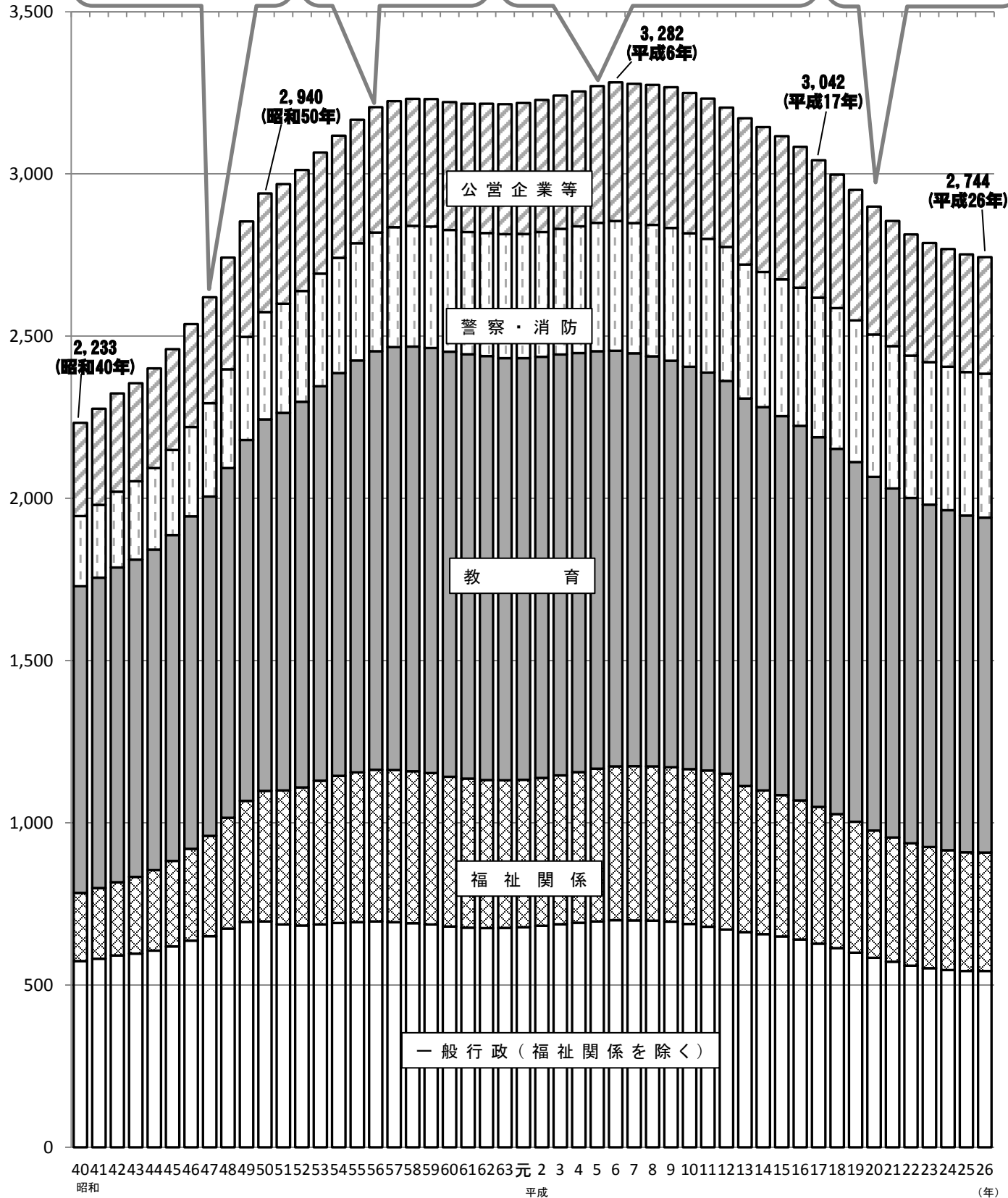
職員数の推移

(単位:人、%)

年	全団体			都道府県			市町村		
	職員数	対前年 増減数	対前年 増減率	職員数	対前年 増減数	対前年 増減率	職員数	対前年 増減数	対前年 増減率
6	3,282,492	11,693	0.4	1,734,665	▲ 4,549	▲ 0.3	1,547,827	16,242	1.1
7	3,278,332	▲ 4,160	▲ 0.1	1,726,263	▲ 8,402	▲ 0.5	1,552,069	4,242	0.3
8	3,274,481	▲ 3,851	▲ 0.1	1,719,900	▲ 6,363	▲ 0.4	1,554,581	2,512	0.2
9	3,267,118	▲ 7,363	▲ 0.2	1,713,593	▲ 6,307	▲ 0.4	1,553,525	▲ 1,056	▲ 0.1
10	3,249,494	▲ 17,624	▲ 0.5	1,703,562	▲ 10,031	▲ 0.6	1,545,932	▲ 7,593	▲ 0.5
11	3,232,158	▲ 17,336	▲ 0.5	1,691,853	▲ 11,709	▲ 0.7	1,540,305	▲ 5,627	▲ 0.4
12	3,204,297	▲ 27,861	▲ 0.9	1,666,944	▲ 24,909	▲ 1.5	1,537,353	▲ 2,952	▲ 0.2
13	3,171,532	▲ 32,765	▲ 1.0	1,648,467	▲ 18,477	▲ 1.1	1,523,065	▲ 14,288	▲ 0.9
14	3,144,323	▲ 27,209	▲ 0.9	1,638,341	▲ 10,126	▲ 0.6	1,505,982	▲ 17,083	▲ 1.1
15	3,117,004	▲ 27,319	▲ 0.9	1,630,316	▲ 8,025	▲ 0.5	1,486,688	▲ 19,294	▲ 1.3
16	3,083,597	▲ 33,407	▲ 1.1	1,620,922	▲ 9,394	▲ 0.6	1,462,675	▲ 24,013	▲ 1.6
17	3,042,122	▲ 41,475	▲ 1.3	1,609,628	▲ 11,294	▲ 0.7	1,432,494	▲ 30,181	▲ 2.1
18	2,998,402	▲ 43,720	▲ 1.4	1,596,305	▲ 13,323	▲ 0.8	1,402,097	▲ 30,397	▲ 2.1
19	2,951,296	▲ 47,106	▲ 1.6	1,579,778	▲ 16,527	▲ 1.0	1,371,518	▲ 30,579	▲ 2.2
20	2,899,378	▲ 51,918	▲ 1.8	1,560,755	▲ 19,023	▲ 1.2	1,338,623	▲ 32,895	▲ 2.4
21	2,855,106	▲ 44,272	▲ 1.5	1,542,705	▲ 18,050	▲ 1.2	1,312,401	▲ 26,222	▲ 2.0
22	2,813,875	▲ 41,231	▲ 1.4	1,525,104	▲ 17,601	▲ 1.1	1,288,771	▲ 23,630	▲ 1.8
23	2,788,989	▲ 24,886	▲ 0.9	1,515,844	▲ 9,260	▲ 0.6	1,273,145	▲ 15,626	▲ 1.2
24	2,768,913	▲ 20,076	▲ 0.7	1,510,179	▲ 5,665	▲ 0.4	1,258,734	▲ 14,411	▲ 1.1
25	2,752,484	▲ 16,429	▲ 0.6	1,502,735	▲ 7,444	▲ 0.5	1,249,749	▲ 8,985	▲ 0.7
26	2,743,654	▲ 8,830	▲ 0.3	1,500,524	▲ 2,211	▲ 0.1	1,243,130	▲ 6,619	▲ 0.5
26-6	-	▲ 538,838	▲ 16.4	-	▲ 234,141	▲ 13.5	-	▲ 304,697	▲ 19.7

地方公共団体の総職員数の推移(昭和40年～平成26年)

(単位:千人)



＜昭和40～昭和50年＞
 ・教育部門:45人学級の実施等に
 に伴う教職員の増
 ・警察・消防:体制強化に伴う増
 ・人口増加 等

＜昭和50～昭和58年＞
 ・教育部門:40人学級の実
 施等にに伴う教職員の増
 ・民生部門:デイサービス事
 業の開始(S54)に伴う増等

＜昭和63年～平成6年＞
 ・民生部門:ゴールドプランの推進に伴う老人
 保健施設の増等
 ・病院部門:病床数、患者数の増
 ・土木部門:普通建設事業費の増加に伴う増等

＜平成17年～平成22年＞
 集中改革プランによる取
 組により▲7.5%削減

404142434445464748495051525354555657585960616263元 2 3 4 5 6 7 8 9 1011121314151617181920212223242526
 昭和 平成 (年)

※ 出典:昭和40～49年は地方公務員給与実態調査、昭和50年以降は地方公共団体定員管理調査による(各年4月1日現在)。

都道府県職員数の増減状況

(単位:人、%)

都道府県	総数			一般行政部門			教育部門			警察部門			公営企業等会計部門		
	H26 職員数	対前年		H26 職員数	対前年		H26 職員数	対前年		H26 職員数	対前年		H26 職員数	対前年	
		増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率
北海道	72,587	▲ 644	▲ 0.9	12,888	▲ 191	▲ 1.5	46,884	▲ 416	▲ 0.9	11,883	25	0.2	932	▲ 62	▲ 6.2
青森県	19,702	▲ 149	▲ 0.8	3,926	13	0.3	12,017	▲ 209	▲ 1.7	2,639	5	0.2	1,120	42	3.9
岩手県	24,088	▲ 4	▲ 0.0	4,265	112	2.7	12,367	▲ 168	▲ 1.3	2,492	▲ 1	▲ 0.0	4,964	53	1.1
宮城県	27,688	130	0.5	5,135	186	3.8	18,025	▲ 2	▲ 0.0	4,377	▲ 51	▲ 1.2	151	▲ 3	▲ 1.9
秋田県	14,995	▲ 137	▲ 0.9	3,359	▲ 23	▲ 0.7	9,172	▲ 120	▲ 1.3	2,334	5	0.2	130	1	0.8
山形県	18,514	▲ 100	▲ 0.5	4,125	▲ 13	▲ 0.3	10,014	▲ 104	▲ 1.0	2,314	8	0.3	2,061	9	0.4
福島県	27,361	▲ 213	▲ 0.8	5,759	158	2.8	17,118	▲ 128	▲ 0.7	4,051	17	0.4	433	▲ 260	▲ 37.5
茨城県	33,947	▲ 232	▲ 0.7	4,801	▲ 28	▲ 0.6	22,346	▲ 253	▲ 1.1	5,294	2	0.0	1,506	47	3.2
栃木県	24,256	▲ 103	▲ 0.4	4,351	▲ 75	▲ 1.7	15,354	▲ 18	▲ 0.1	3,743	▲ 3	▲ 0.1	808	▲ 7	▲ 0.9
群馬県	24,981	▲ 103	▲ 0.4	3,950	▲ 10	▲ 0.3	15,672	▲ 96	▲ 0.6	3,844	▲ 32	▲ 0.8	1,515	35	2.4
埼玉県	62,831	352	0.6	6,695	▲ 45	▲ 0.7	41,028	205	0.5	12,504	140	1.1	2,604	52	2.0
千葉県	62,018	153	0.2	6,581	47	0.7	39,374	39	0.1	12,840	77	0.6	3,223	▲ 10	▲ 0.3
東京都	167,243	161	0.1	18,183	155	0.9	63,585	▲ 57	▲ 0.1	46,583	▲ 117	▲ 0.3	20,154	133	0.7
神奈川県	73,754	355	0.5	7,073	▲ 10	▲ 0.1	48,721	292	0.6	16,962	75	0.4	998	▲ 2	▲ 0.2
新潟県	34,153	▲ 150	▲ 0.4	5,874	17	0.3	19,684	▲ 213	▲ 1.1	4,680	9	0.2	3,915	37	1.0
富山県	15,493	▲ 66	▲ 0.4	3,287	▲ 45	▲ 1.4	8,907	▲ 26	▲ 0.3	2,244	▲ 3	▲ 0.1	1,055	8	0.8
石川県	15,796	▲ 12	▲ 0.1	3,195	▲ 14	▲ 0.4	9,180	▲ 18	▲ 0.2	2,287	2	0.1	1,134	18	1.6
福井県	13,436	▲ 35	▲ 0.3	2,787	▲ 3	▲ 0.1	7,633	▲ 31	▲ 0.4	2,028	▲ 3	▲ 0.1	988	2	0.2
山梨県	13,195	▲ 3	▲ 0.0	3,044	▲ 11	▲ 0.4	8,114	1	0.0	1,930	6	0.3	107	1	0.9
長野県	26,783	▲ 176	▲ 0.7	5,109	▲ 42	▲ 0.8	17,656	▲ 152	▲ 0.9	3,871	16	0.4	147	2	1.4
岐阜県	24,217	22	0.1	4,060	56	1.4	16,170	▲ 45	▲ 0.3	3,886	18	0.5	101	▲ 7	▲ 6.5
静岡県	38,592	19	0.0	5,589	▲ 52	▲ 0.9	24,895	11	0.0	6,956	15	0.2	1,152	45	4.1
愛知県	71,595	240	0.3	8,359	10	0.1	46,817	75	0.2	14,256	114	0.8	2,163	41	1.9
三重県	22,771	3	0.0	4,500	3	0.1	14,360	21	0.1	3,400	▲ 18	▲ 0.5	511	▲ 3	▲ 0.6
滋賀県	18,354	▲ 12	▲ 0.1	2,987	▲ 4	▲ 0.1	11,624	▲ 36	▲ 0.3	2,552	12	0.5	1,191	16	1.4
京都府	28,718	▲ 28	▲ 0.1	4,219	73	1.8	17,124	▲ 114	▲ 0.7	7,077	15	0.2	298	▲ 2	▲ 0.7
大阪府	82,483	300	0.4	7,545	134	1.8	51,330	274	0.5	23,233	31	0.1	375	▲ 139	▲ 27.0
兵庫県	60,745	125	0.2	6,327	▲ 130	▲ 2.0	36,379	18	0.0	12,249	19	0.2	5,790	218	3.9
奈良県	15,709	▲ 1,024	▲ 6.1	3,024	▲ 20	▲ 0.7	9,550	4	0.0	2,773	55	2.0	362	▲ 1,063	▲ 74.6
和歌山県	15,232	▲ 34	▲ 0.2	3,585	43	1.2	8,956	▲ 82	▲ 0.9	2,483	1	0.0	208	4	2.0
鳥取県	11,525	▲ 39	▲ 0.3	2,988	▲ 29	▲ 1.0	5,959	▲ 22	▲ 0.4	1,438	▲ 6	▲ 0.4	1,140	18	1.6
島根県	13,829	▲ 63	▲ 0.5	3,269	▲ 17	▲ 0.5	7,620	▲ 75	▲ 1.0	1,815	9	0.5	1,125	20	1.8
岡山県	23,057	▲ 45	▲ 0.2	3,769	▲ 76	▲ 2.0	15,193	11	0.1	3,972	23	0.6	123	▲ 3	▲ 2.4
広島県	30,644	▲ 135	▲ 0.4	4,386	▲ 74	▲ 1.7	19,153	▲ 73	▲ 0.4	5,703	▲ 10	▲ 0.2	1,402	22	1.6
山口県	19,285	▲ 68	▲ 0.4	3,710	▲ 32	▲ 0.9	11,857	▲ 72	▲ 0.6	3,537	41	1.2	181	▲ 5	▲ 2.7
徳島県	13,484	▲ 99	▲ 0.7	3,146	▲ 22	▲ 0.7	7,377	▲ 98	▲ 1.3	1,820	▲ 4	▲ 0.2	1,141	25	2.2
香川県	14,365	▲ 50	▲ 0.3	2,759	▲ 5	▲ 0.2	8,284	▲ 56	▲ 0.7	2,115	18	0.9	1,207	▲ 7	▲ 0.6
愛媛県	20,807	▲ 133	▲ 0.6	3,750	▲ 15	▲ 0.4	12,259	▲ 133	▲ 1.1	2,807	15	0.5	1,991	0	0.0
高知県	13,693	▲ 102	▲ 0.7	3,399	▲ 25	▲ 0.7	7,608	▲ 130	▲ 1.7	1,906	22	1.2	780	31	4.1
福岡県	50,141	▲ 61	▲ 0.1	7,683	▲ 70	▲ 0.9	30,748	▲ 115	▲ 0.4	11,600	132	1.2	110	▲ 8	▲ 6.8
佐賀県	13,128	▲ 21	▲ 0.2	3,021	▲ 10	▲ 0.3	8,141	▲ 14	▲ 0.2	1,959	3	0.2	7	0	0.0
長崎県	20,511	▲ 75	▲ 0.4	4,184	▲ 4	▲ 0.1	12,471	▲ 90	▲ 0.7	3,490	4	0.1	366	15	4.3
熊本県	22,194	23	0.1	4,257	▲ 17	▲ 0.4	14,286	26	0.2	3,478	18	0.5	173	▲ 4	▲ 2.3
大分県	16,928	▲ 30	▲ 0.2	3,790	17	0.5	10,010	▲ 78	▲ 0.8	2,386	22	0.9	742	9	1.2
宮崎県	17,223	▲ 55	▲ 0.3	3,719	▲ 13	▲ 0.3	9,685	▲ 78	▲ 0.8	2,320	6	0.3	1,499	30	2.0
鹿児島県	25,172	▲ 40	▲ 0.2	5,107	▲ 10	▲ 0.2	15,633	▲ 72	▲ 0.5	3,437	61	1.8	995	▲ 19	▲ 1.9
沖縄県	23,301	147	0.6	3,831	▲ 24	▲ 0.6	13,691	122	0.9	2,895	6	0.2	2,884	43	1.5
合計	1,500,524	▲ 2,211	▲ 0.1	231,350	▲ 135	▲ 0.1	890,031	▲ 2,295	▲ 0.3	284,443	799	0.3	75,962	▲ 627	▲ 0.8

注) 東京都職員数の総数には消防部門職員(18,738人(対前年+47人))が含まれる。

指定都市職員数の増減状況

(単位：人、%)

指定都市	総数			一般行政部門			教育部門			消防部門			公営企業等会計部門		
	H26年 職員数	対前年		H26年 職員数	対前年		H26年 職員数	対前年		H26年 職員数	対前年		H26年 職員数	対前年	
		増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率		増減数	増減率
札幌市	14,360	55	0.4	7,286	76	1.1	1,824	▲5	▲0.3	1,836	▲3	▲0.2	3,414	▲13	▲0.4
仙台市	9,597	62	0.7	4,420	85	2.0	1,141	▲14	▲1.2	1,091	▲7	▲0.6	2,945	▲2	▲0.1
さいたま市	9,033	125	1.4	5,004	81	1.6	1,278	2	0.2	1,272	7	0.6	1,479	35	2.4
千葉市	7,260	5	0.1	4,035	▲10	▲0.2	940	▲17	▲1.8	935	▲3	▲0.3	1,350	35	2.7
横浜市	27,186	254	0.9	13,917	100	0.7	2,497	20	0.8	3,415	▲4	▲0.1	7,357	138	1.9
川崎市	13,199	▲92	▲0.7	7,094	▲153	▲2.1	1,341	6	0.4	1,437	5	0.3	3,327	50	1.5
相模原市	4,672	85	1.9	3,202	65	2.1	528	6	1.1	735	13	1.8	207	1	0.5
新潟市	7,345	▲38	▲0.5	3,739	▲21	▲0.6	910	▲30	▲3.2	915	4	0.4	1,781	9	0.5
静岡市	6,217	▲32	▲0.5	3,094	6	0.2	680	▲36	▲5.0	772	▲2	▲0.3	1,671	0	0.0
浜松市	5,479	▲94	▲1.7	3,158	▲33	▲1.0	917	▲50	▲5.2	891	▲2	▲0.2	513	▲9	▲1.7
名古屋市	25,301	190	0.8	11,371	1	0.0	2,897	23	0.8	2,386	4	0.2	8,647	162	1.9
京都市	13,754	▲18	▲0.1	7,467	▲28	▲0.4	1,637	▲29	▲1.7	1,818	▲12	▲0.7	2,832	51	1.8
大阪市	35,112	▲578	▲1.6	15,744	▲200	▲1.3	4,062	▲131	▲3.1	3,477	▲41	▲1.2	11,829	▲206	▲1.7
堺市	5,495	11	0.2	3,330	29	0.9	637	▲6	▲0.9	906	▲3	▲0.3	622	▲9	▲1.4
神戸市	14,701	▲248	▲1.7	7,782	▲91	▲1.2	2,104	▲22	▲1.0	1,480	7	0.5	3,335	▲142	▲4.1
岡山市	5,337	▲471	▲8.1	3,259	39	1.2	796	▲15	▲1.8	682	6	0.9	600	▲501	▲45.5
広島市	9,521	▲1,945	▲17.0	5,443	120	2.3	1,282	▲9	▲0.7	1,351	9	0.7	1,445	▲2,065	▲58.8
北九州市	8,347	▲140	▲1.6	4,649	▲110	▲2.3	730	▲40	▲5.2	968	▲3	▲0.3	2,000	13	0.7
福岡市	9,486	▲64	▲0.7	5,505	▲32	▲0.6	1,224	▲22	▲1.8	1,067	20	1.9	1,690	▲30	▲1.7
熊本市	6,420	▲21	▲0.3	3,559	▲44	▲1.2	654	5	0.8	729	58	8.6	1,478	▲40	▲2.6
合計	237,822	▲2,954	▲1.2	123,058	▲120	▲0.1	28,079	▲364	▲1.3	28,163	53	0.2	58,522	▲2,523	▲4.1